

京都精華大学

KYOTO SEIKA UNIVERSITY

2025年度

2025

入試ガイド

ADMISSION SUMMARY

総合型選抜

学校推薦型選抜

一般選抜

大学入学共通テスト利用入試

外国人留学生入試

KYOTO SEIKA
UNIVERSITY
ADMISSION
SUMMARY

2025

入試ガイドについて

この入試ガイドは、本学への入学を志願するみなさんに入試制度の概要を理解してもらうために作成しました。内容は、入試日程、試験方式、出題内容をはじめ、合否判定上の評価ポイントやアドバイスなどです。特に総合型選抜については詳しく説明していますので、ぜひ受験の準備に活用してください。

この冊子の記載内容は2024年3月時点のものであり、今後入試内容を変更する場合があります。出願にあたっては、2024年7月頃に大学Webサイトで公開する『入学試験要項』を必ず確認してください。



目次

入試概要

入試の特徴	1
2025年度の募集人員	2
2025年度入試一覧	3
入試スケジュール	5
入学者に求める力	7
外国籍の方へ	8

試験方式

試験方式一覧	9
総合型選抜	11
鉛筆デッサン方式	13
イメージ表現方式	15
学力2科目方式	17
小論文方式	18
オンライン面接方式	19
試験方式についてよくある質問	21
オンライン試験についてよくある質問	22

入試種別

総合型選抜1期（エントリー方式）	23
総合型選抜2期（エントリー方式）	31
総合型選抜3期	37
学校推薦型選抜（公募制）	41
指定校推薦入試	42
一般選抜	43
大学入学共通テスト利用入試	44
外国人留学生入試	45
海外帰国生徒・社会人入試	46
編入学試験	47
入試についてよくある質問	48

出願

出願資格	49
出願方法	51
出願書類の送付	53
入学検定料の納入	54
受験上の配慮	55
出願についてよくある質問	56

共通事項

試験会場	57
英語資格・検定試験の利用	58
入学金・授業料	59
奨学金	60
2024年度入試結果	61
お問合せ	63

入試の特徴

まずは京都精華大学の入試の特徴を紹介します。下記から気になるものを選んで、詳しい情報を読んでみてください。

POINT



学びの内容がよく分かる 体験型プログラムを実施

詳しくは 23 ~ 40 ページの「総合型選抜」

得意な科目を選んで受験が可能

詳しくは 9 ~ 20 ページの「各試験方式」

英語資格・検定の取得者は 授業料 50 万円給付

詳しくは 60 ページの「奨学金」

JLPT/EJU だけじゃない 5 種類の日本語能力試験を採用

詳しくは 50 ページの「外国人留学生の出願資格」

指定する入試の成績優秀者は 年間授業料の 1/4 の額を減免

詳しくは 60 ページの「奨学金」

日本留学試験の成績優秀者は 年間授業料の 1/4 の額を減免

詳しくは 60 ページの「奨学金」

入学検定料 30,000 円 学科・コース併願料は無料

詳しくは 54 ページの「入学検定料の納入」

世界中どこからでも 受験できるオンライン面接

詳しくは 19 ~ 20 ページの「オンライン面接方式」

入学手続き時の納入金は 年間授業料の 1/4 の額と入学金

詳しくは 59 ページの「入学金・授業料」

スコア利用できる外部英語資格 ・検定試験は 8 種類

詳しくは 58 ページの「英語資格・検定試験の利用」

2025年度の募集人員

2025年度の募集人員（予定数）は以下の通りです。入学定員は学科単位で定め、各入試種別に対して割り当てています。

募集人員（2025年度予定数）

学部	学科	入学定員	総合型選抜			学校推薦 公募制	一般選抜			大学入学 共通テスト利用			外国人 留学生		その他 海外帰国生徒、 社会人など	
			1期	2期	3期		1期	2期	3期	1期	2期	3期	1期	2期		
国際文化学部	人文学科	138	31	10	10	18	18	8	8	11			8	5	若干名	
	グローバルスタディーズ学科	45	8	4	4	6	6	3	3	4			2	2		
メディア表現学部	メディア表現学科	177	52	8	8	20	20	6	6	15			10	6		
芸術学部	造形学科	140	54	14	-	17	17	-	-	6	-	-	12	6		
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	74	30	8	-	8	8	-	-	2	-	-	6	4		
	イラスト学科	67	27	7	-	7	7	-	-	2	-	-	6	4		
	プロダクトデザイン学科	77	34	8	-	8	8	-	-	3	-	-	6	4		
	建築学科	56	16	5	-	9	9	-	-	5	-	-	5	4		
マンガ学部	マンガ学科	240	133	-	-	25	16	-	-	6	-	-	26	13		
	アニメーション学科	84	46	-	-	8	8	-	-	3	-	-	9	4		
合計		1098	431	64	22	126	117	17	17	57			90	52		若干名

※ 入学定員は指定校推薦入試、海外帰国生徒入試、社会人入試などの募集人員を含みます。なお、本学で学修する能力を満たしていないと判断した場合、合格者数が募集人員を下回ることがあります。

募集単位について

募集単位とは入学試験を実施する単位のことです。出願の際は募集単位から志望先を選んでください。学内併願ができる入試では、2つまで選択できます。

学部	学科	専攻・コース	備考	
国際文化学部	人文学科	歴史、文学、社会	学科単位で募集し、2年次から専攻に所属	
	グローバルスタディーズ学科	国際文化、国際日本学		
メディア表現学部	メディア表現学科	メディアイノベーション、メディアデザイン、 メディアコミュニケーション、音楽メディア		
芸術学部	造形学科	洋画、日本画、版画、立体造形、陶芸、テキスタイル、映像		
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	グラフィックデザイン		コース単位で募集し、1年次から所属
		デジタルクリエイション		
	イラスト学科	イラスト、モーションイラスト		学科単位で募集し、2年次から専攻に所属
	プロダクトデザイン学科	インダストリアルデザイン、ライフクリエイション、 ファッションデザイン		
建築学科	建築、人間環境デザイン			
マンガ学部	マンガ学科	ストーリーマンガ		コース単位で募集し、1年次から所属
		新世代マンガ		
		キャラクターデザイン		
	アニメーション学科	アニメーション		



が募集単位です。

2025 年度入試一覧

下記の表は各学部が実施する試験方式を入試種別ごとにまとめたものです。欄内が「選択」となっている場合は、表記された試験方式から選択することができます。「-」となっている場合は、その入試種別において、該当する学部は入試を実施しません。

入試種別	試験日	外国籍の方の出願	国際文化学部	メディア表現学部						
総合型選抜 1 期 (エントリー方式)	9/15 (日) 9/16 (月・祝)	○	個別プログラム	個別プログラム						
総合型選抜 2 期 (エントリー方式)	10/13 (日)	○	個別プログラム	個別プログラム						
学校推薦型選抜 (公募制)	11/16 (土) 11/17 (日)	-	選択 <table border="1"> <tr><td>学カ 2 科目</td></tr> <tr><td>小論文</td></tr> <tr><td>オンライン面接</td></tr> </table>	学カ 2 科目	小論文	オンライン面接	選択 <table border="1"> <tr><td>学カ 2 科目</td></tr> <tr><td>小論文</td></tr> <tr><td>オンライン面接</td></tr> </table>	学カ 2 科目	小論文	オンライン面接
			学カ 2 科目							
小論文										
オンライン面接										
学カ 2 科目										
小論文										
オンライン面接										
			調査書	調査書						
外国人留学生入試 1 期	11/16 (土) 11/17 (日)	○	選択 <table border="1"> <tr><td>学カ 2 科目</td></tr> <tr><td>小論文</td></tr> <tr><td>オンライン面接</td></tr> </table>	学カ 2 科目	小論文	オンライン面接	選択 <table border="1"> <tr><td>学カ 2 科目</td></tr> <tr><td>小論文</td></tr> <tr><td>オンライン面接</td></tr> </table>	学カ 2 科目	小論文	オンライン面接
学カ 2 科目										
小論文										
オンライン面接										
学カ 2 科目										
小論文										
オンライン面接										
総合型選抜 3 期	12/15 (日)	○ ※	個別プログラム	個別プログラム						
一般選抜 1 期	2/4 (火) 2/5 (水) 2/6 (木)	-	選択 <table border="1"> <tr><td>学カ 2 科目</td></tr> <tr><td>小論文</td></tr> <tr><td>オンライン面接</td></tr> </table>	学カ 2 科目	小論文	オンライン面接	選択 <table border="1"> <tr><td>学カ 2 科目</td></tr> <tr><td>小論文</td></tr> <tr><td>オンライン面接</td></tr> </table>	学カ 2 科目	小論文	オンライン面接
学カ 2 科目										
小論文										
オンライン面接										
学カ 2 科目										
小論文										
オンライン面接										
外国人留学生入試 2 期	2/4 (火) 2/5 (水) 2/6 (木)	○ ※	選択 <table border="1"> <tr><td>学カ 2 科目</td></tr> <tr><td>小論文</td></tr> <tr><td>オンライン面接</td></tr> </table>	学カ 2 科目	小論文	オンライン面接	選択 <table border="1"> <tr><td>学カ 2 科目</td></tr> <tr><td>小論文</td></tr> <tr><td>オンライン面接</td></tr> </table>	学カ 2 科目	小論文	オンライン面接
学カ 2 科目										
小論文										
オンライン面接										
学カ 2 科目										
小論文										
オンライン面接										
一般選抜 2 期	2/20 (木)	○ ※	オンライン面接	オンライン面接						
一般選抜 3 期	3/8 (土)	○ ※	オンライン面接	オンライン面接						
大学入学共通テスト利用入試 1 期	-	○ ※	共通テスト	共通テスト						
大学入学共通テスト利用入試 2 期	-	○ ※	共通テスト	共通テスト						
大学入学共通テスト利用入試 3 期	-	○ ※	共通テスト	共通テスト						

外国籍の方の出願欄で、○※が付いた入試種別については、出願時点において日本で有効な在留資格「留学」を有している方が対象です。詳しくは 8 ページの「外国籍の方へ」を確認してください。

芸術学部		デザイン学部		マンガ学部	
個別プログラム		個別プログラム		個別プログラム	
個別プログラム		個別プログラム		-	
選択	鉛筆デッサン	選択	鉛筆デッサン	選択	鉛筆デッサン
	イメージ表現		イメージ表現		イメージ表現
	学力2科目		学力2科目		学力2科目
	小論文		小論文		小論文
	オンライン面接		オンライン面接		オンライン面接
調査書		調査書		調査書	
選択	鉛筆デッサン※	選択	鉛筆デッサン※	選択	鉛筆デッサン※
	イメージ表現※		イメージ表現※		イメージ表現※
	学力2科目		学力2科目		学力2科目
	小論文		小論文		小論文
	オンライン面接		オンライン面接		オンライン面接
日本語作文		日本語作文		日本語作文	
-		-		-	
選択	鉛筆デッサン	選択	鉛筆デッサン	選択	鉛筆デッサン
	イメージ表現		イメージ表現		イメージ表現
	学力2科目		学力2科目		学力2科目
	小論文		小論文		小論文
選択	鉛筆デッサン※	選択	鉛筆デッサン※	選択	鉛筆デッサン※
	イメージ表現※		イメージ表現※		イメージ表現※
	学力2科目		学力2科目		学力2科目
	小論文		小論文		小論文
日本語作文		日本語作文		日本語作文	
-		-		-	
-		-		-	
共通テスト		共通テスト		共通テスト	
-		-		-	
-		-		-	

個別プログラム

学科・コースごとの学びの特色が出たプログラムに参加して、与えられた課題に取り組みます。個別プログラムには、体験授業、小論文・面接、ポートフォリオ・面接、プログラミングなどがあります。

オンライン面接

いくつかの質問に対して回答してください。オンラインで実施する試験です。なお、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部では、あなたがこれまでに制作した作品の提示を求める質問もあります。

鉛筆デッサン

与えられたモチーフを自分で配置して、画用紙に鉛筆で描写します。
※ 外国人留学生は別途、日本語の筆記試験が課されます。

イメージ表現

画用紙に印刷された図形から発想される世界を絵と文章で表現します。
※ 外国人留学生は別途、日本語の筆記試験が課されます。

学力2科目

3科目から2科目選択
英語、国語、数学から2科目を選択して120分で解答します。

5科目から2科目選択
英語、国語、数学、日本史、世界史から2科目を選択して120分で解答します。

小論文

課題文を読み解いて、自分の意見を600字～800字程度で論述します。

共通テスト

大学入学共通テストの得点を利用して合否を判定する入試です。本学独自の試験は実施しません。

調査書

学校推薦型選抜（公募制）では調査書を得点化（50点満点）して、試験科目に加算して合否を判定します。

日本語作文

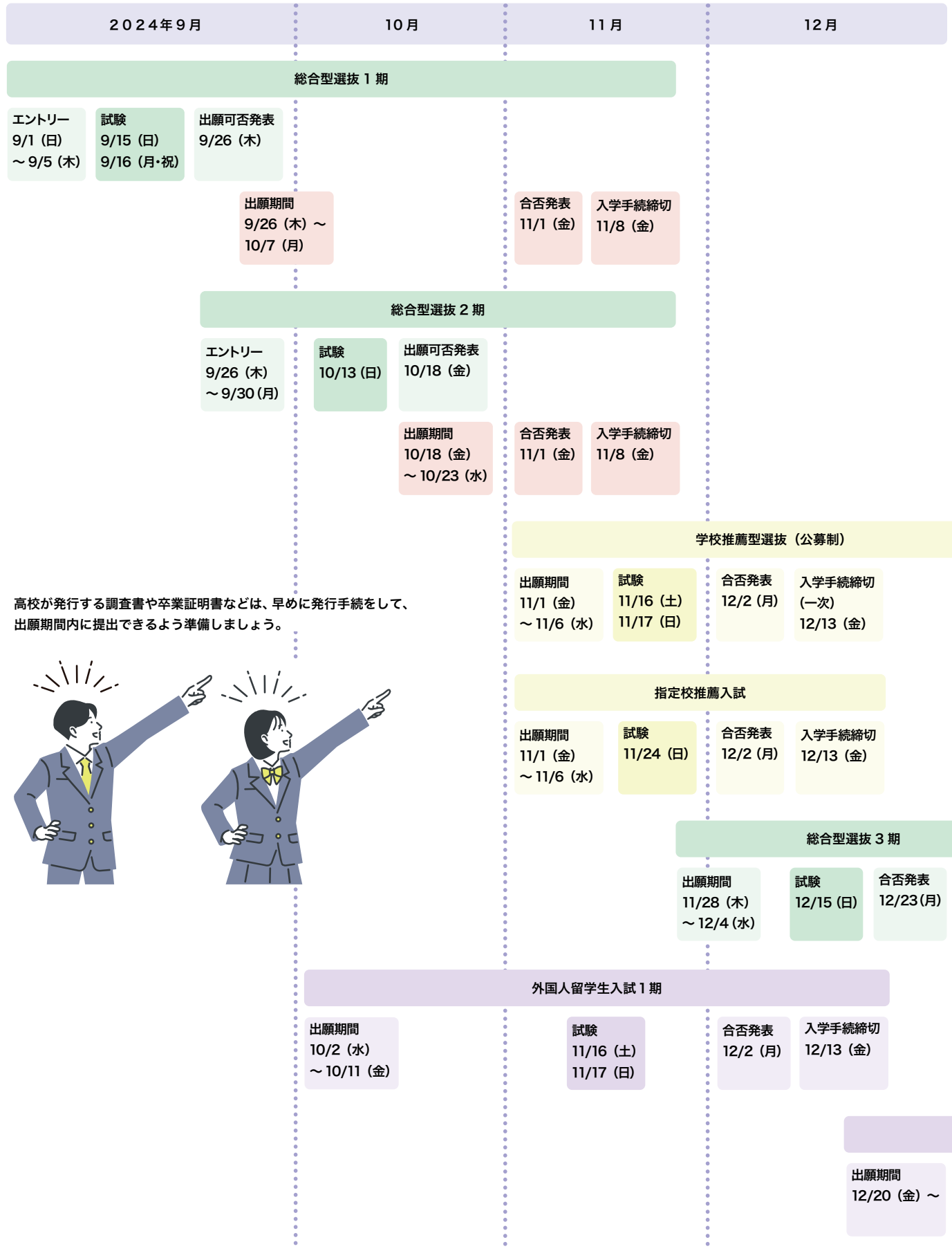
外国人留学生入試1期・2期において、実技科目（鉛筆デッサン、イメージ表現）を選択した場合、別途に日本語試験が課されます。
試験時間は20分で、300字程度の作文を書きます。

入試スケジュール

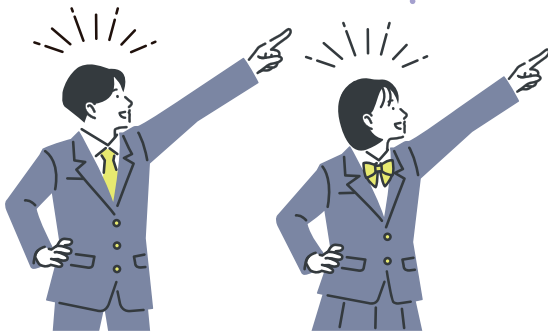
下記は2025年度の入試スケジュールです。入試種別ごとの出願期間、試験日、合否発表日をあらかじめ確認して、受験に備えましょう。

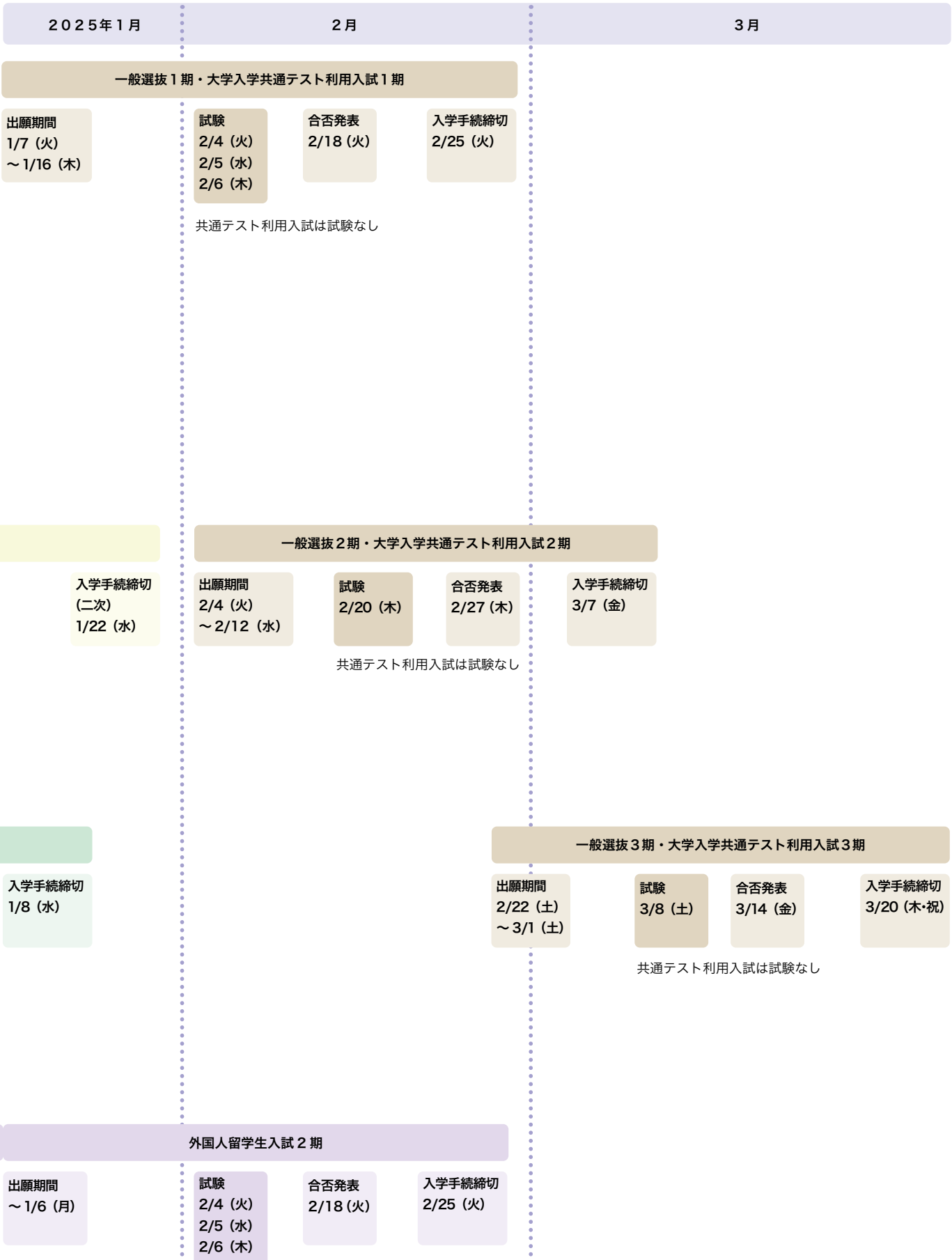
入試概要

入試スケジュール



高校が発行する調査書や卒業証明書などは、早めに発行手続をして、出願期間内に提出できるよう準備しましょう。





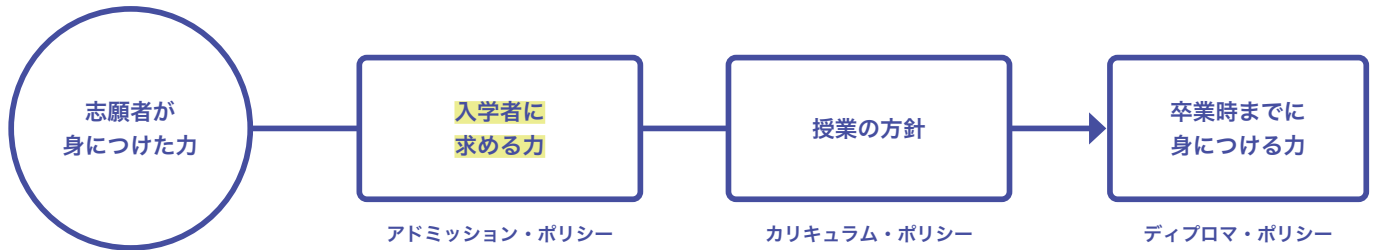
入学者に求める力

ここでは本学がどのような学生を求めているかについて説明します。京都精華大学は人間を尊重し、人間を大切にすることを教育の基本とし、学問・芸術によって人類社会に尽くそうとする自立した人間の形成を目的としています。この教育理念をもとに3つのポリシーを定めています。

3つのポリシー

1つ目は、学生が卒業時まで身に付ける力（ディプロマ・ポリシー）、2つ目は、その力を身につけるための授業の方針（カリキュラム・ポリシー）、3つ目は、その授業を受けるために入学者に求める力（アドミッション・ポリシー）です。

入学試験は3つ目の入学者に求める力（アドミッション・ポリシー）を評価するためのものです。本学では多様な学生を募集するために、志願者がこれまでに身につけた力を、学力、技能、意欲などのさまざまな観点から評価する試験方式を設けています。



アドミッション・ポリシー3つの領域

本学のアドミッション・ポリシーは3つの領域を定めています。それぞれの領域でどのような力を求めているか、具体的な内容を右記に示します。カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーについては、大学 Web サイトに掲載していますので確認してください。

領域1：知識・理解・技能

1. 高等学校の教育課程における基礎学力・技能を有している。
2. 入学後に発展可能な、作品制作に関する基礎知識・技能を有している。
2 については、芸術学部・デザイン学部・マンガ学部の入学者が対象です。

教育の3つの方針



領域2：思考・判断・表現

1. 身近な問題について、知識や情報をもとに筋道を立てて思考できる。
2. 他者の意見を理解し、自分の考えをわかりやすく表現できる。

領域3：関心・意欲・態度

1. 新しい領域や多様な人々に対して先入観なく向き合い、生涯にわたって学習を継続する意欲がある。
2. 学びたい学部・学科の知識や経験を社会で活かしたいという目的意識を持っている。





出願できる入試種別

外国籍（日本国籍を有していない）の方が出願できる入試種別は、出願時点の在留資格取得状況によって異なります。以下の表に記した①～④のいずれに該当するかを確認してください。なお、出願資格と出願書類については50ページの「外国人留学生の出願資格」に詳細を記載しています。

※ 出願時点において、日本国籍を有する重国籍者で外国人学生として入学を希望する方は、出願前に入学グループへ相談してください。

入試種別	出願時点の在留資格取得状況	①有効な在留資格「留学」を有している方	②在留資格を有していない方	「留学」以外の中長期滞在可能な在留資格を有している方 ※入学に際する在留資格の変更予定の有無によって異なります。		
				③「留学」への変更予定あり	④「留学」への変更予定なし	
総合型選抜1期・2期	出願できる	出願できる	出願できる	出願できる	「国内学生」として出願できる	
総合型選抜3期				出願できない		出願できない
外国人留学生入試1期				出願できる		出願できる
外国人留学生入試2期	出願できない	出願できない	出願できない	出願できない	出願できない	
学校推薦型選抜（公募制）				出願できない		出願できない
一般選抜1期				出願できない		出願できない
一般選抜2期・3期	出願できる	出願できる	出願できない	出願できない	「国内学生」として出願できる	
大学入学共通テスト利用入試1期・2期・3期				出願できる		出願できない

※「国内学生」として在籍する方は、外国人留学生の各種補助制度が利用できない場合があります。

ビザ（査証）・在留資格手続

在留資格を有していない場合

本学では所定の期日までに入学手続を完了した日本国外在住者のうち、在留資格「留学」の取得を希望する方のために、本人に代わって出入国在留管理庁へ「在留資格認定証明書（COE）」の交付申請を行います。申請に必要な書類や手続などは、大学 Web サイトで後日案内しますので、必要書類を期日までに提出してください。

在留資格を有している場合

日本国内の教育機関（日本語学校を含む）から本学への入学を希望する方で、入学試験合格時点において、すでに有効な在留資格「留学」を有している場合は、在留満了日に応じて「在留期間更新許可申請」を行ってください。詳しくは大学 Web サイトで後日案内します。







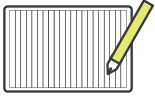


在留資格「留学」以外を有している場合

- ・ 日本で中長期滞在可能な在留資格（「留学」以外）を有している場合は、在留資格「留学」への変更義務はありませんが、外国人留学生対象の各種補助制度が利用できない場合があります。
- ・ 「短期滞在」および「特定活動（出国準備）」の在留資格を有している場合、原則として一度日本を出国し、在留資格認定証明書（COE）を申請する必要があります。
- ・ 「留学」以外の在留資格から「留学」への変更を希望する方は、出願前に入学グループへ相談してください。

試験方式一覧

本学の試験方式を大きく分類すると、学科・コースの個別プログラムに取り組む総合型選抜と、学部別の試験方式から得意なものを選択する学校推薦型選抜・一般選抜、大学入学共通テスト利用入試があります。

学部	総合型選抜		
	1期	2期	3期
国際文化学部	<p>小論文・面接</p> 	<p>小論文・面接</p> 	<p>小論文・面接</p>  <p>いずれかを選択</p> <p>プレゼンテーション</p> 
メディア表現学部	<p>体験授業</p> 	<p>プログラミング</p> 	<p>パフォーマンス</p> 
芸術学部	<p>体験授業</p> 	<p>体験授業</p> 	
デザイン学部	<p>体験授業</p> 	<p>ポートフォリオ・面接</p>  <p>体験授業</p> 	<p>対象：ビジュアルデザイン学科 イラスト学科</p> <p>対象：プロダクトデザイン学科 建築学科</p>
マンガ学部	<p>体験授業</p> 		

学部	学校推薦型選抜（公募制）、一般選抜、外国人留学生入試	大学入学共通テスト利用入試
<p>国際文化学部・メディア表現学部</p>	<p>以下の試験方式から得意なものを選択してください。入試種別によって選択できる方式が異なります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>学力2科目</p>  <p>【3科目から選択】 英語・国語・数学 【5科目から選択】 英語・国語・数学 日本史・世界史</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>小論文</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>オンライン面接</p>  </div> </div>	<div style="text-align: center;"> <p>共通テスト</p>  </div> <p>国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語、情報から、最も得点の高い2教科・2科目を使用して可否を判定</p>
<p>芸術学部・デザイン学部・マンガ学部</p>	<p>以下の試験方式から得意なものを選択してください。入試種別によって選択できる方式が異なります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>鉛筆デッサン</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>+</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>対象：外国人留学生</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; width: 100px;">日本語作文</div> </div> <div style="text-align: center;"> <p>+</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>外国人留学生入試1期、2期で鉛筆デッサン、イメージ表現を選択した場合、別途に日本語作文試験が課されます。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>+</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>日本語作文</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; width: 100px;">日本語作文</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>学力2科目</p>  <p>【3科目から選択】 英語・国語・数学 【5科目から選択】 英語・国語・数学 日本史・世界史</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>小論文</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>オンライン面接</p>  </div> </div>	<div style="text-align: center;"> <p>共通テスト</p>  </div> <p>国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語、情報から、最も得点の高い2教科・2科目を使用して可否を判定</p>

総合型選抜

総合型選抜は学科・コースごとに実施する個別プログラムの参加を通じて、志願者の知識、技能、態度などから総合的に評価し、合否を判定する入試です。

出題内容

総合型選抜の出題内容は学科・コースによって異なります。受験者はこれまでに身につけた知識や技能を発揮できる方式を選んで受験することができます。下記では個別プログラムの各方式の概要を説明しています。学科・コースごとの出題内容、評価のポイント、試験に持参できる用具などの詳しい情報は23～40ページに記載しています。

体験授業



学科・コースの特徴を体験授業を通じて理解すると共に、入門的な課題に取り組みます。学びと入試が一つになった方式と言えます。まだ志望先が決まっていない受験生にもお勧めです。

対象：メディア表現学部、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部

小論文・面接



国際文化学部が実施するこの試験方式では、教員のレクチャーを聞き、共に考え、小論文を作成します。さらに面接を通じて受験生の学びたいことを確認し、入学後の自分の姿を明確にします。

対象：国際文化学部

ポートフォリオ・面接



ビジュアルデザイン学科とイラスト学科が実施するこの試験方式では、受験生がこれまで取り組んできた作品制作、プレゼンテーションなどから評価します。

対象：ビジュアルデザイン学科、イラスト学科

プレゼンテーション



国際文化学部が実施するこの試験方式では、受験生がテーマを選び、その内容についてプレゼンテーションを行ってもらいます。試験はオンラインの録画方式で、自宅からでも受験が可能です。

対象：国際文化学部

プログラミング



メディア表現学部が実施するこの試験方式では、実際にプログラミングします。また、受験生がこれまでにプログラミングしたものを提出してもらい、面接にて質疑応答を行います。

対象：メディア表現学部

パフォーマンス



メディア表現学部が実施するこの試験方式は、受験生がこれまでに取り組んできたことをパフォーマンスとして実演します。他の試験方式では表現できない自分をアピールできます。

対象：メディア表現学部

評価のポイント

総合型選抜の合否（出願可否）は評価のポイントにしたがって判定します。学科・コースのプログラムごとに評価するポイントが異なりますので、出題内容と合わせて確認してください。

【芸術学部 造形学科 総合型選抜 1期の場合】

- ・新しい領域や多様な表現に対して意欲的に取り組むことができる
- ・創作することに強い関心と興味を持つことができる
- ・教員とコミュニケーションをとることができる

試験日程

総合型選抜は1期から3期まで試験日程を設けています。ただし、学部ごとに実施期が異なります。

日程	国際文化学部	メディア表現学部	芸術学部	デザイン学部	マンガ学部
1期 9月15日 9月16日	小論文・面接	体験授業	体験授業	体験授業	体験授業
2期 10月13日	小論文・面接	プログラミング	体験授業	体験授業 ポートフォリオ・面接	-
3期 12月15日	小論文・面接 プレゼンテーション	パフォーマンス	-	-	-

エントリー方式

総合型選抜 1 期・2 期は、出願に際してエントリー方式を採用しています。3 期はその他入試と同じ出願手順になります。

日程	出願	検定料	学内併願	他大学との併願
1 期	エントリー方式 (2 段階)	エントリー時は無料 出願時に 30,000 円	2 つの学科・コースまで併願できます。	エントリーから出願可否発表までは、他大学との併願が可能です。出願する際は本学を専願とする必要があります。
2 期			第 1 志望のみ出願できます。	
3 期	他の入試と同じ	30,000 円	第 1 志望のみ出願できます。	他大学との併願可

エントリー方式（総合型選抜 1 期・2 期）の流れ



専願入試に関する留意事項

総合型選抜 1 期・2 期では、エントリーから個別プログラムの受験までは他大学との併願が可能ですが、「出願可」となった方が出願する時点から本学への専願入試になります。本学への入学を確約できる場合に限り出願してください。また、専願入試で入学手続を完了した方は、以降の入試に出願することはできません。ただし、奨学金「入学試験成績優秀特待生」の受給を目的として、一般選抜 1 期または外国人留学生入試 2 期を受験する場合に限り出願が認められます。この場合の志望先は、入学手続が完了した学科・コースと同一である必要があります。

鉛筆デッサン方式

鉛筆デッサン方式は芸術学部、デザイン学部、マンガ学部の志願者を対象にした実技試験です。複数の種類のモチーフを自分で机上に配置して、鉛筆で描写する試験です。外国人留学生の方は鉛筆デッサンと日本語試験の2科目を受験する必要があります。

出題内容

	試験科目	出題内容	時間	配点
国内学生	鉛筆デッサン	複数の種類のモチーフを机上に配置して鉛筆で描写する。 【支給物】モチーフ、画用紙（B3） 【制作条件】出題内容によっては制作条件が指示されます。	180分	200点

	試験科目	出題内容	時間	配点
外国人留学生	鉛筆デッサン	上記と同じ。	180分	150点
	日本語作文	与えられた課題について、自分の考えを300字程度の日本語で記述する。	20分	50点

評価のポイント

定型物の形や比率の正確さ、各モチーフ間の大きさのバランスがとれているか。立体感や重量感、質感や色の違いが表現できているか。各モチーフの特徴を活かした画面構成となっているか、また、モチーフによって作り出される奥行き、空気感、差し込む光、絵としての世界観を意識しているかを主に評価します。

※外国人留学生の日本語作文試験では、日本語として適切な表現で、論理的にわかりやすい文章が書けるかを評価します。

試験に持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式、大型、ハンドル付きは不可）、カッターナイフ（鉛筆を削る用途以外は不可）、消しゴム（練り消しゴム含む）、画板・カルトン（大きさ、種類は問いません）、クリップ（クリップ代りのマスキングテープ、画鋏などの利用は不可）、羽ぼうき、製図用ブラシ、デッサン用スケール、はかり棒、擦筆（さっぴつ）

出題例（2024年度入試問題より）

入試種別	学校推薦型選抜（公募制）、外国人留学生入試1期
モチーフ	・ ガラス容器 1個 ・ 菓子 1袋
制作条件	・ モチーフは2種とも描写すること。 ・ 菓子を袋から出し、袋を描かないこと。 ・ 菓子を描く個数は自由とする。 ・ 菓子の加工は自由とする。 ・ 画用紙は、縦位置／横位置のいずれに使用してもよい。



入試種別	一般選抜1期、外国人留学生入試2期
モチーフ	・ ガラス容器 1個 ・ 黒玉石 1袋 ・ 水 1本
制作条件	・ 黒玉石を配置する分量は自由とする。ただし、そのうち適量をガラス容器に入れること。 ・ 黒玉石はポリ袋から出し、袋を描かないこと。 ・ 水をガラス容器に適量入れること。 ・ ペットボトル容器は描かないこと。 ・ 画用紙は、縦位置／横位置のいずれに使用してもよい。



アドバイス

モチーフは、生活の中で使用される金属、ガラスなどの定型物と、食べ物や自然物などの不定形物の組み合わせがよく出題されます。「評価のポイント」をよく読んで、これらのモチーフ間の差異をよく観察することから始めましょう。支給する画用紙は少し硬めで、鉛筆で強く描いても紙が毛羽立つことはありません。鉛筆の濃淡も使い分けましょう。鉛筆デッサンの経験がない人は、身近にある日用品を机の上に置いて、それを使っている風景を思い浮かべながら描いてみましょう。

過去問題



合格参考作品（2024 年度入試問題より）



2024 年度入試 合格作品



2024 年度入試 合格作品

イメージ表現方式

イメージ表現方式は芸術学部、デザイン学部、マンガ学部の志望者を対象にした実技試験です。画用紙に印刷された図形をもとに発想される世界を、絵と文章で表現する試験です。外国人留学生の方はイメージ表現と日本語試験の2科目を受験する必要があります。

出題内容

	試験科目	出題内容	時間	配点
国内学生	イメージ表現	画用紙に印刷された図形から発想される世界を絵と文章で表現する。 【支給物】画用紙（B4）、作文用紙（B5）、下描き用紙（A4） 【制作条件】作文は試験時間内に作成し、1枚の作文用紙内に収めること。	180分	200点
	日本語作文	与えられた課題について、自分の考えを300字程度の日本語で記述する。	20分	50点
外国人留学生	イメージ表現	上記と同じ。	180分	150点
	日本語作文	与えられた課題について、自分の考えを300字程度の日本語で記述する。	20分	50点

評価のポイント

与えられた図形からの「発想力」、発想を他者に伝える「表現力」、ひとつの作品としてまとめる「構成力」を重視します。絵と文章を合わせて、独自の世界やアイデアが表現されているかを評価します。

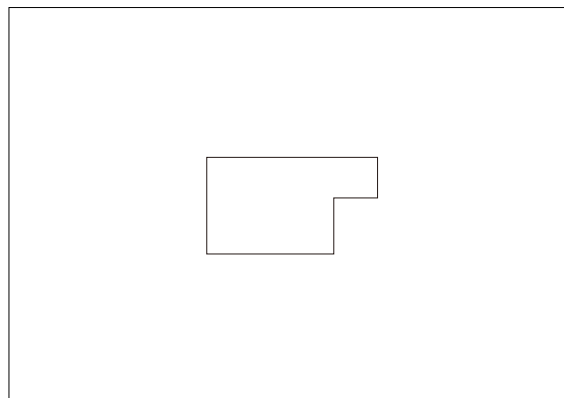
※ 外国人留学生の日本語作文試験では、日本語として適切な表現で、論理的にわかりやすい文章が書けるかを評価します。

試験に持参できる用具

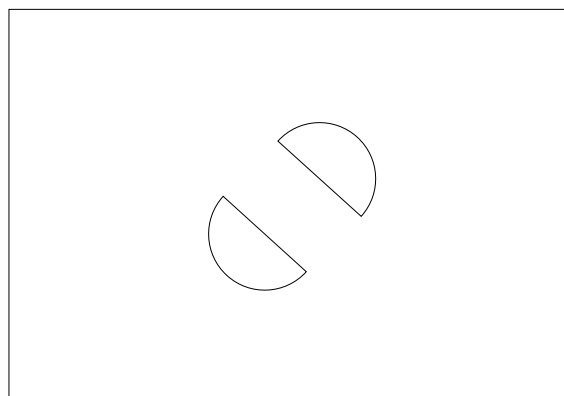
黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式、大型、ハンドル付きは不可）、カッターナイフ（鉛筆を削る用途以外は不可）、消しゴム（練り消しゴム含む）、画板・カルトン（大きさ、種類は問いません）、クリップ（クリップ代わりのマスキングテープ、画鋲などの使用は不可）、水溶性絵具（アクリルガッシュ、ポスターカラーなど）、色鉛筆、サインペン、マーカー（筆状のペンなど種類は問いません）、筆、筆洗、筆ふき、パレット

出題例（2024年度入試問題より）

入試種別	学校推薦型選抜（公募制）、外国人留学生入試1期
図形	右図の通り
制作条件	<ul style="list-style-type: none"> 画用紙は、縦位置 / 横位置のいずれに使用してもよい。 作品の上下左右を示すため、画用紙の裏面の△の印を黒く塗りつぶすことで、「上」方向に相当する位置を示しなさい。 作文の文字数に関する条件指定はありません。ただし、作文用紙の2枚目を配布しませんので、1枚の作文用紙のなかで文章表現してください。



入試種別	一般選抜1期、外国人留学生入試2期
図形	右図の通り
制作条件	<ul style="list-style-type: none"> 画用紙は、縦位置 / 横位置のいずれに使用してもよい。 作品の上下左右を示すため、画用紙の裏面の△の印を黒く塗りつぶすことで、「上」方向に相当する位置を示しなさい。 作文の文字数に関する条件指定はありません。ただし、作文用紙の2枚目を配布しませんので、1枚の作文用紙のなかで文章表現してください。



アドバイス

入試当日の試験時間内は、参考資料や色見本を見ながら制作することができませんので、普段から身の回りの人、物、風景やその形、特徴、質感、色彩などをよく観察して、発想したイメージを自分で描けるよう練習をしていきましょう。多くのアイデアの中から選ぶこと、いろいろなアイデアを組み合わせてみると発想がふくらむと思います。これまで自分が描いた絵を人に見せたことがない人でも、絵と文章を合わせて、あなたが発想した世界が物語として感じられるかどうか、人に伝わるかどうかを意識しながら制作してみましょう。180分という限られた時間に完成させるためには、絵と文章を合わせて時間内に仕上げられるよう練習することが大事です。

過去問題



合格参考作品（2024年度入試問題より）



ずっとほしかったクレヨンを手に入れて、すっかり夢中になってしまったミーちゃん。今日はクレヨンもおもちゃも出しっぱなしで眠ってしまったようです。さあ、ここからはおもちゃたちの時間。お母さんにおこられてしまうようなちらかりも、かれらにとってはゆうえんち。「クレヨンがあるよ!」「おえかきしよう!」いるんなあそびがありますが、いちばん人気のあるあそびは…つみきのれっしゃ!「やったー!今日はわたしが先頭ね!」「わあ、おちやう!」「みんなのせてあげるから、あわてないでね。」つみきのれっしゃさんのゆうがな足どりは、とってもやさしくて、おうちにやってきてからというもの、すっかりみんなの人気者。今夜はどこへ向かうのでしょうか…?おつきさまもワクワクしながらみまっています。

2024年度入試 合格作品



さまざまな果物や野菜があるところは昆虫たちの世界だ。ある時野菜の中で昆虫は彼の友達と一緒に約束して、どんな野菜や果物を食べたくて、むしたちは一緒にその野菜それとも果物へ移動している。この状況は人間たちが自分の友人と店へご飯を食べに行くのと同じだ。むしと友達はトマトを食べたいので、うれしそうにトマトに入って、トマトを食べながら雑談している。そして、もうトマトのなかに入っているの、自分の周りは全部食べられて、これは完全に食べられる店だ!このような“店”でご飯を食べて、一番うれしいことだと思っています。ご飯を食べた後、ちょっと眠い感じがあるので、暫くどこかで休み、自分が好きな食べ物の味に伴って、寝ている。これも一番幸せなことだと考えている!

2024年度入試 合格作品

学力2科目方式

学力2科目方式は自分の得意な科目を選択することができる試験です。英語・国語・数学（3科目）から2科目選択する方式と、英語・国語・数学・日本史・世界史（5科目）から2科目を選択する方式があります。解答は全科目マーク式（国語は一部記述式）です。

出題内容

試験科目	3科目から 2科目選択	5科目から 2科目選択	出題範囲	時間	配点
英語	○	○	「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現Ⅰ」 また、本学が指定する英語の資格・検定試験のスコアを利用して、「英語」の得点に換算すること（みなし得点）ができます。詳しい情報は58ページの「英語資格・検定試験の利用」を確認してください。	120分	200点 (100点×2科目)
国語	○	○	「現代の国語」「言語文化（古文・漢文を除く）」 「思考力・判断力・表現力」を評価するために記述式の設問を含みます。		
数学	○	○	「数学Ⅰ」「数学A」		
日本史	—	○	「日本史探究」		
世界史	—	○	「世界史探究」		

※ 出題にあたっては、旧教育課程履修者にとって不利が生じないように配慮します。また、「数学」では新旧教育課程において共通の範囲から出題します。

評価のポイントとアドバイス

試験科目	出題のポイント・アドバイス
英語	「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現Ⅰ」を出題範囲としています。英語を読む力や会話のやりとりをする力、語彙力、文法・語法に至る英語力を主に測ります。 読解問題の対策として、800語～1000語程度の英文を辞書に頼らず読み、必要な情報を正確に読み取り、要点や概要を把握する練習をしましょう。あわせて、文法の副読本や問題集に確実に取り組むことも必要です。
国語	「現代の国語」「言語文化（古文・漢文を除く）」を出題範囲として、社会・文化・歴史などの分野について書かれた論説文や評論文を中心にとりあげます。筆者の主張を読み取る問題を通じて、読解力、論理的思考力、語彙力を問い、国語の基礎力を測ります。選択問題（マーク式）に加え、記述式の設問（30字～50字程度）があります。論理的な文章をしっかりと読み込み、基本的な漢字・語彙・接続詞などにも留意しながら、素材文の主張を読み取る練習をしましょう。
数学	「数学Ⅰ」「数学A」を出題範囲として、幅広く数学の基礎的な力を測ります。教科書の基本問題を確実に解けるように復習を繰り返してください。難易度の高い問題より、まずは基礎を固めて、問題集で練習しましょう。苦手な単元は教科書や問題集の例題をみて解法を確認しながら、確実に解いていくことが大切です。
日本史	「日本史探究」を出題範囲として、日本史の基礎となる知識や思考力を問います。用語や年代を単に覚えるだけではなく、歴史の流れを意識し、年表や史料などからそれぞれの出来事や時代背景を理解することも必要です。伝統や文化、他国や時代のつながりなどと関連させて理解を深めてください。
世界史	「世界史探究」を出題範囲として、特定のテーマや地域だけに偏ることなく、世界史の基礎となる知識や思考力を問います。教科書や用語集を用いて正確な知識を身につけてください。また、単なる用語の暗記だけではなく、歴史の流れを知ることや、地図や史料などを活用して世界の文化や情勢についても理解を深めてください。

試験に持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）

小論文方式

小論文方式は論説や評論などの課題文を読み解いて、自分の意見を600字～800字程度で論述する試験です。

出題内容

試験科目	出題内容	時間	配点
小論文	課題文を読み解き、自分の意見を600字～800字程度で論述してください。	90分	200点

評価のポイントとアドバイス

日本語の文章を読んで、その内容を理解したうえで、設問に対して自分の考えや意見を論述する試験です。課題文を読解できているか、その論旨を正確に把握しているか。また示された設問について十分に考察し、自分の意見を論理的かつ、説得力があり、分かりやすい文章で説明できているかを評価します。解答の文字数は設問にもよりますが、600字～800字程度です。問われている内容に留意して、誤字・脱字にも注意して本学の過去問題を解いてみてください。また日頃から論説文・評論文を読んで、わからない言葉は意味を調べることも小論文の対策となるでしょう。

試験に持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）

入試の過去問題と解答

過去の入試問題と解答は、入試&高校生・受験生向け情報ページで公開しています。学力試験、小論文、鉛筆デッサン、イメージ表現の各試験について過去3年分を掲載していますので、ぜひ活用してください（著作権の関係により掲載を控えた問題が一部あります）。

鉛筆デッサン、イメージ表現試験については、出題内容だけでなく、合格者による作品を参考作品（解答例）として掲載しています。

総合型選抜の過去問題と解答については公開していません。その理由は、総合型選抜が受験者の知識、技能、態度などから総合的に評価する試験だからです。



過去問題



オンライン面接方式

オンライン面接方式はあなたのこれまでの活動や経験を通じて身につけたことや、大学で学びたいことなどの質問に回答する試験です。面接は録画方式で行われます。スマートフォンやパソコンなどを利用して、国内、海外のどこからでも受験することができます。

出題内容

試験科目	配点	出題内容	時間
オンライン面接	150点	録画方式のオンライン面接により、将来の目標や本学で学びたいこと、これまでの活動や経験などについての複数の質問に対して、回答を録画してください。複数の質問にはそれぞれ制限時間があります。 自己アピールのために、これまでの活動の写真、制作物、書類などを提示することができます。芸術学部・デザイン学部・マンガ学部では、これまでに制作した作品の提示を求める質問があります。 所要時間は受験票の提示や、録画した回答の確認などを含め、30分～60分程度です。	試験当日 11:00～13:00の間に受験を完了させること
自己推薦書	50点	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述する。	事前提出

自己アピールのための資料

オンライン面接では、自己アピールのために、これまでの活動の写真、作品、資料などを提示して回答することができます。提示する資料などは、カメラで写せるものであれば、映像や立体物などの形式は問いません。ただし、画面の共有やデータファイルの送信はできません。

芸術学部・デザイン学部・マンガ学部では、あなたがこれまでに制作した作品の提示を求める質問があります。提示する作品の形式は問いませんが、カメラに映せるものに限りです。動画作品の場合は再生のための機器を準備し、再生映像をカメラに映してください。オンライン面接時に画面の共有やファイルの送信はできませんので、事前にポートフォリオにまとめるなどして、オンライン面接時に提示できるように準備しておいてください。

提示する作品、ポートフォリオなどは、志願者本人が作成したものに限りです。AI、トレース、模写などによって作成した場合は、作品のどの部分に使用したかについて、回答時に必ず説明してください。

アドバイス

オンライン試験で使用する面接システム「HireVue (ハイアービュー)」は、世界の多くの国で使用されていて、これまでも多くの方が受験しています。事前に練習することで、通信環境や、録画の時に声が聞こえているか、アングルに問題ないかなどを確認することができます。

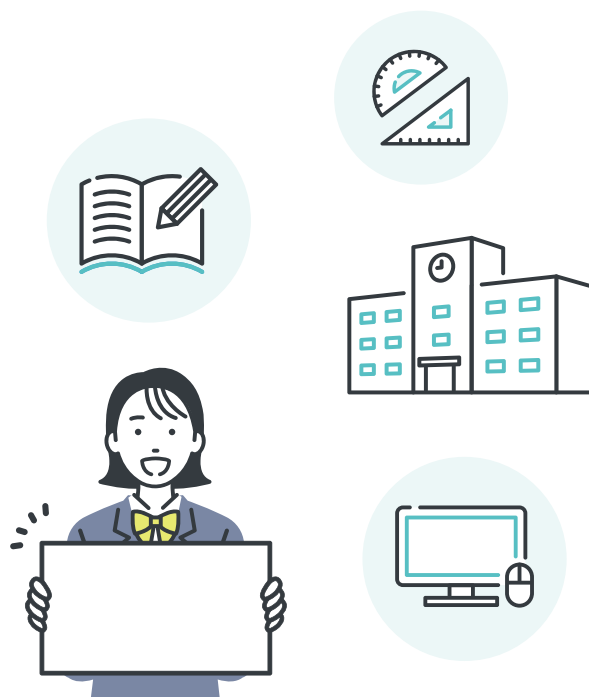
カメラに向かって話すときは、暗記した内容をただ読むだけでなく、話している相手に伝えることを意識して、練習することが大切です。

「自己推薦書」では面接だけではわからないあなたについて知りたいと考えています。学校での活動や、個人での制作・取り組みについてまとめてみましょう。もし自分には立派な実績がないので書くことがないと思っても、あなたが好きなこと、興味・関心があること、頑張ったことなどを思い起こし、周りの人にも聞いてみて、自分自身のことが伝わるように意識して文章にしてみましょう。

評価のポイント

オンライン面接での回答および自己推薦書を通じて、意欲、主体性、思考力、表現力を総合的に評価し、合否を判定します。志望する学部・学科・コースの学びの内容について意欲や関心があるか、本学について理解しているか、大学入学後に学びたい内容や実現したいことについて考えているか、これまで取り組んできたこと、その経験を通じて何を学んだかがポイントです。

芸術学部・デザイン学部・マンガ学部では、これまでに制作した作品についても評価します。



オンライン試験の流れ

オンライン面接方式、総合型選抜3期のプレゼンテーション方式は、以下の流れで試験を実施します。



準備すること

受験にはスマートフォン、タブレット、パソコン (カメラ、マイク、スピーカーが付いていること) のいずれかの機器が必票になります。録画をする際に画面がブレないように、スタンドなどを利用して機器を固定してください。

また、受験時に本人確認を行いますので、事前に受験票を印刷しておいてください。

受験に必要な機器やインターネット環境を自分で準備できない場合は、出願期間中に入学グループに連絡してください。

オンライン試験の練習

オンライン試験の練習用サイトを公開します。練習問題は実際の入試での質問とは異なりますが、機器の接続確認や回答 (録画) の練習ができます。何度でも試してください。

受験する場所・服装

志願者以外の者がいない部屋で、騒音や障害物がなく、十分に明るい場所で受験してください (公園、インターネットカフェ、レストランなどは不可)。また、受験票の写真で本人を照合しますので、帽子、サングラス、マスクなどの顔が隠れるものは身につけないでください。

2024年4月下旬公開予定
オンライン試験練習用サイト





試験方式についてよくある質問

Q.1	試験は学力2科目、小論文の両方を受験しないといけませんか。	A.1	いいえ。試験は得意な試験方式を1つから選んで受験できます。学力2科目と小論文の両方を受験することも可能です。
Q.2	学力2科目と小論文を受験して、学力2科目の得点が低かったら、小論文の得点が良くても不合格になりますか。	A.2	合否判定は試験方式ごとに行います。例えば、学力2科目が不合格、小論文が合格となった場合、入試の結果は合格です。
Q.3	自己推薦書はどのように提出すればよいですか。	A.3	大学 Web サイトのマイページで出願登録する際に、画面に入力してください。事前にテキストデータを保存しておけば、コピーして貼り付けることができます。
Q.4	過去の試験問題はどこで入手できますか。	A.4	過去問題は大学 Web サイトで過去3年分を公開しています。
Q.5	試験方式を複数選択する方法がわかりません。	A.5	下記の例を参考にしてください。

試験方式の選択方法

ここでは学校推薦型選抜（公募制）、一般選抜1期、外国人留学生入試において、試験方式を選択するためのポイントを説明します。

①試験方式はいくつ選択できるのか

日程と時間帯（午前・午後）が重ならなければ、複数の試験方式を選択することができます。下記の場合だと最大3つまで選択することができます。ただし、志望先によって選択できない試験方式があります。例えば、国際文化学部では鉛筆デッサン、イメージ表現を選択できません。

1日目

オンライン面接

午前

学力2科目

イメージ表現

2日目

午後

小論文

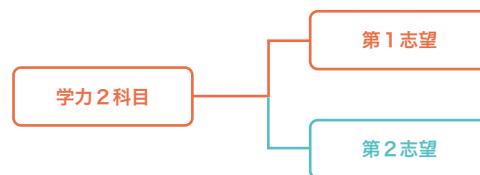
鉛筆デッサン

②オンライン面接は第1志望でのみ選択できる

オンライン面接は第1志望でのみ受験ができる科目です。第2志望を選択することはできません。

③学内併願について

学内併願をすると、1つの試験方式の成績によって、2つの志望先の合否が判定されます。学内併願料は無料ですので、志望先を迷っている方にはお勧めです。



④入学検定料について

試験方式は1つ追加することに入検料が10,000円追加となります。

⑤合否判定について

受験した試験方式のどれか1つでも合格をすれば、入試結果は合格となります。複数の試験方式を選択することで、合否判定の機会が増えることとなります。



オンライン試験についてよくある質問

Q.1	オンライン面接はリアルタイムで行われますか。もしインターネット回線が途中で途切れてしまったら、どうなりますか。	A.1	オンライン面接は録画方式で行います。もし質問への回答中にインターネット回線が途切れた場合は、再度アクセスすることで途中からやり直すことができますので安心してください。 ※ 海外帰国生徒・社会人入試を除きます。
Q.2	オンライン面接を受験するためにはパソコンが必要ですか。	A.2	オンライン面接はパソコン、タブレット、スマートフォンなどの機器と、インターネットに接続する環境が必要になります。
Q.3	試験時間はどのくらいかかりますか。	A.3	質問数や撮り直す回数にもよりますが、60分程度が目安です。
Q.4	自己アピールのための資料がありませんが、大丈夫ですか。	A.4	自己アピールのための資料は必須ではありません。自分らしい回答ができるように準備してください。ただし、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部では、あなたがこれまでに制作した作品を提示してもらった質問がありますので、準備が必要です。
Q.5	海外に住んでいますが、受験はできますか。	A.5	はい。受験できます。本学が使用しているオンライン面接システムは、世界中から受験することができます。ただし、日本標準時（JST）で試験を実施しますので、海外から受験する場合は、時差に注意してください。
Q.6	回答（録画）を失敗しました。撮り直しはできますか。	A.6	回答の撮り直しは2回まで可能です。ただし、送信できるのは最後に撮影した動画になります。
Q.7	自分で作成した動画を見せたいのですが、データを送信したり、ファイル共有をすることはできますか。	A.7	オンライン面接（録画方式）では、データの送信、ファイル共有はできません。動画をディスプレイなどで再生して、カメラに写して見せてください。
Q.8	オンライン試験の準備には何が必要ですか。詳しく教えてください。	A.8	下記にオンライン試験のための準備について、ポイントをまとめました。

オンライン試験の準備のポイント

インターネット接続環境

350kbps以上のWi-Fi環境を推奨します。安定したデータ通信が行える環境で受験してください。
最低100kbpsのデータ通信速度でも受験は可能ですが、通信速度が遅かったり、不安定だと、回答中に通信が途切れる原因になります。

受験のための機器

スマートフォン、タブレット、パソコンで受験できます。
スマートフォンまたはタブレットを使用する場合は、専用アプリを事前にダウンロードする必要があります。
アプリ [HireVue for Candidates](#) をAppStore、Google Play アプリストアで検索してください。

総合型選抜 1 期（エントリー方式）

総合型選抜 1 期では志望先を選んでエントリーして、学科・コースごとに実施する個別プログラムに取り組んでもらいます。試験の結果と「自己推薦書」から総合的に評価して、出願可否を発表します。「出願可」を受けた方が出願へと進み、書類審査を経て最終的な可否を発表します。

試験方式

この入試では学科・コースごとに個別プログラムを実施します。

実施学部	試験方式	配点	出題内容	時間
国際文化学部	小論文・面接、自己推薦書	250点(200点+50点)	個別プログラムで与えられた課題に取り組む。 実施内容、持参できる用具などについては24ページを確認してください。	24～30ページの 時間割を確認して ください。
メディア表現学部 芸術学部 デザイン学部 マンガ学部	体験授業、自己推薦書	250点(200点+50点)	個別プログラムで与えられた課題に取り組む。 実施内容、持参できる用具などについては25～30ページを確認してください。	

出願書類

エントリー	自己推薦書	エントリー時に自己推薦書の提出が必要です。あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度（上限1200字）で記述してください。
	試験時に持参するもの	プロダクトデザイン学科、キャラクターデザインコースでは、試験当日に持参するもの（資料、作品など）があります。詳しくは個別プログラムのページを確認してください。
出願	学びの計画書	個別プログラムに参加して、あなたが学んだこと、気づいたこと、興味を持ったことや、それをふまえて入学後にどのように学びたいかについて800字程度（上限1200字）で記述してください。
	学歴証明書類	出身学校が発行した調査書、卒業見込証明書、卒業証明書いずれかの原本を1通提出してください。
	外国人留学生の提出書類	外国人留学生の方は学歴証明書類に加えて提出が必要な書類があります。詳しくは50ページの「外国人留学生の出願資格」を確認してください。

試験日程

	エントリー期間	受験票印刷日	試験日	出願可否発表日
エントリー	2024年9月1日（日）0：00～ 9月5日（木）23：59	9月10日（火） 12：00～	9月15日（日） 9月16日（月・祝）	9月26日（木） 12：00

※ 台風などの影響で試験が実施できなくなった場合は、9月17日（火）もしくは18日（水）に延期します。

	出願期間	可否発表日	入学手続締切日
出願	9月26日（木）12：00～ 10月7日（月）23：59	11月1日（金） 12：00	11月8日（金）

入学検定料

エントリー	エントリー時の入学検定料は0円です。
出願	30,000円

試験会場

京都精華大学

学内併願

この入試では第2志望まで学内併願することができます。その場合は試験日ごとに志望先の個別プログラムに参加してください。

試験日の選択

試験日は2日設けていますので、エントリー時に受験日を選択してください。プログラム内容は両日も同じです。第2志望まで学内併願する場合は、2日間受験することになります。その場合は本学が志望先ごとの受験日を指定します。

求める人

- ・ 幅広い視野や国際的な観点から、日本の文化や歴史、文学、社会のことを学びたい人
- ・ いろんなフィールドに飛び出して異文化と直接触れ合いたい人
- ・ 個性的な考え方を身に付けたり、あるいは伸ばしたりしたい人
- ・ 自分とは違う考え方や異なる意見に触れて、新たな発見を試みたい人

プログラム レクチャー、小論文、面接

テーマ・内容

グローバルとローカルの視点から

人文学科では、1年次にはグローバルな視野のもとで自文化について理解を深め、2年次からは専攻に分かれてより専門的に学ぶことで、自分の問題意識を深めていきます。このプログラムではまず、「共通テーマ」について国際文化学部の複数の教員が異なる視点から行うレクチャーを受け、学部の学びの多様さ、幅広さを体感してもらいます。レクチャー中には所定の用紙にメモを取り、疑問や質問を書いてもらいます。それらをもとに、レクチャー担当者からフィードバックを受けたいと、改めて「共通テーマ」について自分が考えたことを小論文(800字程度)にまとめます。教員との面接では、志望理由、入学後に学びたいこと、現在の興味・関心などに関する質疑応答を通して、自身の興味・関心や学びたい意欲と、学科の学びとのつながりを確認します。学び、考え、そして他者に向けて発信するという学部での学びのプロセス全体を体験します。

共通テーマ例：「病・感染症」、「戦争」、「旅」

時間割

- 12:30 集合
- 13:00 レクチャー
- 14:00 休憩
- 14:15 レクチャー担当者からのフィードバック
- 14:45 小論文と面接(途中休憩あり)
- 16:00 終了

評価のポイント

- ・ 【レクチャー】内容の要点及び疑問や質問などをメモ用紙に適切に記入できているか
- ・ 【小論文】レクチャーを理解したうえで書かれているか、自分なりの考えが書かれているか、文章全体の構成が論理的か、わかりやすい日本語で書かれているか
- ・ 【面接】志望理由が明確か、大学で学ぶ意欲があるか、筋道立てて話し論理的に思考しているか、これまでの活動から積極性が見て取れるか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)、消しゴム

支給物

メモ用紙

求める人

- ・ 異なる地域や国、文化に飛び込んでみたい人
- ・ 世界各地さまざまな人々の視点を学び、かつ、自分自身の視点を見つけた人
- ・ 国内外においてグローバルな社会で活躍や表現をしたい人
- ・ 海外を視野に入れて新しいことに挑戦したい人
- ・ 語学に興味がある人

プログラム レクチャー、小論文、面接

テーマ・内容

グローバルとローカルの視点から

グローバルスタディーズ学科では、4年間の間に最大3度のフィールドワークを行います。フィールドワークは「旅行」とは大きく異なります。本や映像で目にした社会の中に実際に入り込み、同じ生活空間を共有することで、他者の生活を体験し、書物や映像からだけでは知りえない地域や社会を知り、理解することを目指します。このプログラムではまず、「共通テーマ」について国際文化学部の複数の教員が異なる視点から行うレクチャーを受け、学部の学びの多様さ、幅広さを体感してもらいます。レクチャー中には所定の用紙にメモを取り、疑問や質問を書いてもらいます。それらをもとに、レクチャー担当者からフィードバックを受けたいと、改めて「共通テーマ」について自分が考えたことを小論文(800字程度)にまとめます。教員との面接では、志望理由、入学後に学びたいこと、現在の興味・関心などに関する質疑応答を通して、自身の興味・関心や学びたい意欲と、学科の学びとのつながりを確認します。学び、考え、そして他者に向けて発信するという学部での学びのプロセス全体を体験します。

共通テーマ例：「病・感染症」、「戦争」、「旅」

時間割

- 12:30 集合
- 13:00 レクチャー
- 14:00 休憩
- 14:15 レクチャー担当者からのフィードバック
- 14:45 小論文と面接(途中休憩あり)
- 16:00 終了

評価のポイント

- ・ 【レクチャー】内容の要点及び疑問や質問などをメモ用紙に適切に記入できているか
- ・ 【小論文】レクチャーを理解したうえで書かれているか、自分なりの考えが書かれているか、文章全体の構成が論理的か、わかりやすい日本語で書かれているか
- ・ 【面接】志望理由が明確か、大学で学ぶ意欲があるか、筋道立てて話し論理的に思考しているか、これまでの活動から積極性が見て取れるか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)、消しゴム

支給物

メモ用紙

求める人

- ・ いままでにない新しい媒体、新しい表現方法を自ら生み出す人
- ・ 好奇心旺盛で、独創的かつ自由な発想をカタチにしたい人
- ・ 最新のテクノロジーを使った表現、社会課題の解決を目指す人
- ・ アート、ビジネス、両方を理解し社会に影響を与えたい人
- ・ 広い視野を持ち、ねばり強く行動して突破できる人

プログラム レクチャー、提案

テーマ・内容

メディアの概念と歴史を理解して、新しいメディアを考えてみよう

メディア表現学部では、理系文系芸術系という括りを超えて、最新のテクノロジーを活用し、社会に新しい価値を提供する、様々なメディアの企画・制作を行います。

この体験授業では、メディアの歴史を辿り、誕生した概念について理解を深めます。その上で様々なメディア表現や、メディアを通じたアプローチについて学び、実際に新しいメディアを企画し、表現することを目指します。

具体的には、

- ①メディア概念の理解：メディアの構成要素や役割、現在のメディア環境が生まれるまでの歴史などメディアについての基本的な知識をレクチャーします。
- ②メディア表現の様々なアプローチ：メディア表現学科の4専攻それぞれの切口から、現代のメディアと、これからの新しいメディアの可能性や方向性について解説します。
- ③新しいメディアの提案：レクチャーをふまえて、今後生まれてきそうなメディア、求められるメディアなど、新しいメディアを企画し、それを文章、ビジュアル、音声などで表現してもらいます。提案作業の時間を2回設けますので、②で取り上げたテーマから2つを選択して提案作業に取り組んでください。

この授業は、新たな媒体と表現を生んできたメディアの歴史と理論を理解した上で、次の時代を予測して、実際に自分で企画提案するメディア表現学部での学びのプロセスを体験するものです。豊かな創造力でこれからのメディアについて考え、この体験授業を通じて入学後の学びの理解を深めてください。

時間割

- 10:00 集合
10:30 レクチャー
12:15 休憩
13:15 提案作業(1)
15:15 休憩
15:30 提案作業(2)
17:30 終了

評価のポイント

【情報理解力】

- ・ レクチャーの情報を整理できている
- ・ レクチャーの内容を反映して提案できている

【提案力】

- ・ 提案に客観性、論理性がある
- ・ 提案に独創性、新しさがある

【社会・メディアへの関心】

- ・ 社会課題をクリエイティブな方法で解決しようとしている
- ・ メディアの特性を捉えて適正な提案ができている

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、消しゴム

支給物

上記の持参できる用具以外に試験に必要な用具・材料は支給します。

総合型選抜をお勧めしたい理由

総合型選抜は本学が受験生にもっともお勧めしたい入試です。その理由を以下にまとめました。

①大学の学びを深く知ることができる

志望する学科・コースの学びの内容、デザインやマンガなどの専門分野で必要な技術や知識など、大学の学びを想像できない人もいます。総合型選抜は入試ではありますが、みなさんが想像するよりもリラックスした雰囲気の中で、先生や他の参加者から学ぶ機会となるでしょう。

②専門的な経験がなくても参加できる

専門的な分野に興味があっても、自分に向いているのか心配な人も多いと思います。総合型選抜では専門的な知識や経験がなくても参加できるプログラムを用意しています。興味のある人はぜひチャレンジしてください。そのような意欲も評価の対象になります。

③入学定員の約50%を募集

総合型選抜1期は1年間で実施する入試種別の中でもっとも募集人数が多い入試です。芸術学部、デザイン学部、マンガ学部においては、総合型選抜1期～3期で全体の約50%の人数を募集します。本学を志望する人はぜひ受験してください。

④学びたいことが決まっていなくても安心

大学で何を学びたいか、まだ決まっていない人もいます。また、どの学科・コースを選ぶべきかを迷うという声もよく聞きます。そんな人は2つのプログラムに参加して比較してください。両方の志望先で出願を得ることができれば、出願の際にどちらかを選択することができます。

⑤同じ興味や関心を持つ人との出会い

プログラムのちょっとした合間に、受験生同士が話し合っている様子も見られます。同じ興味や関心を持つ人に出会うことで、良い意味で刺激をもらったり、他の人の考えを参考にしたりすることができます。



求める人

- ・新しい領域や多様な表現に対して意欲的に取り組むことができる
- ・創作することに強い関心と興味を持つことができる
- ・教員とコミュニケーションをとることができる

プログラム 制作、作品発表

テーマ・内容

作る自分に出会うこと

モチーフを再構成し、デッサンする。

好奇心、探究心を発揮して、潜在的な創造力を引き出すことに挑戦します。

1. 与えられたモチーフを切る、貼るなどの加工を施し、再構成する。
2. 再構成したモチーフを鉛筆、コンテなどを使って描写する。
3. 制作した作品について制作意図を簡単に説明する。

モチーフの加工と描写を通して、あなたの感性と可能性を探りましょう。

教員からのアドバイスを受けながら作品を創造する考え方を学びましょう。完成した作品を介して自分の考えや感情を相手に伝えること、作品を鑑賞して相手を理解することを体験します。美術の経験がなくても意欲があれば積極的にチャレンジしてください。

時間割

- 10:00 集合
- 10:30 与えられたモチーフを切る、貼るなどの加工を施し、再構成したものをクロッキーします。
- 12:30 休憩
- 13:30 再構成したモチーフを描写します。
(コンテの使い方 - 制作 - 完成 - 片付け)
- 16:30 作品発表・講評
(出来上がった作品を見て、制作意図を説明します)
- 17:30 終了

評価のポイント

- ・新しい領域や多様な表現に対して意欲的に取り組んでいるか
- ・創作することに強い関心と興味を持つことができるか
- ・教員とコミュニケーションをとることができるか

持参できる用具

使い慣れたデッサン用具 (なければ HB ~ 6B の鉛筆を各数本、消しゴム (練り消しゴム含む)、鉛筆削り (電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)、はさみ、カッターナイフ、メモを取るためのノート (事前に書いたスケッチ、メモなどは持ち込み不可)、体操着・作業着・エプロンなど汚れてもよい服装

支給物

モチーフ (各種)、画用紙、テープ、その他に試験に必要な用具・材料は支給します。

求める人

グラフィックデザインは、まだまだいろいろ可能性にあふれています。グラフィックデザインコースは、身のまわりの世界をもっと美しくしたい、楽しくしたい、面白くしたい、もっと心地よくしたいなどの気持ちがあふれている多様な人が集まり、自分の美意識、感性を鍛えぬき、好奇心全開で世の中にかくれている、楽しい種を発見する場所です。多くの人をワクワクさせたい人を求めます。

プログラム レクチャー、制作、作品発表

テーマ・内容

色彩構成力をレベルアップさせ、グラフィックデザインに触れる
～「カラーグラフィック・バッグ」をデザインしよう～

グラフィックデザインとは、さまざまな図像と文字 (ことば) を組み合わせ、素材に展開することで豊かな表現となり、人々の心に響くようデザインしていくプロセスをいいます。この授業では最初に、「セイカいろがみ」を用いた配色の考え方に関するレクチャーを受け、色彩構成作品を制作します。次にその作品をデジカメで撮影、パソコンにてタイトル文字と合わせてレイアウトした後、プリンターで出力し、トートバッグに転写します。色と形の組み合わせを楽しみながら、「造形 (素材) → 構成 (デザイン) → 展開 (発信)」というグラフィックデザインのプロセスとエッセンスを学びます。

時間割

- 10:00 集合
- 10:30 レクチャー
- 11:30 制作①
- 12:30 休憩
- 13:30 制作②
- 16:00 作品発表
- 17:00 まとめ
- 17:30 終了

評価のポイント

- ・作品
- ・制作姿勢
- ・教員とのコミュニケーション
- ・発表
これらを総合的に評価します。

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り (電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)、カッターナイフ (鉛筆を削るための使用に限る)、消しゴム、メモを取るためのノート (事前に書いたスケッチ、メモなどは持ち込み不可)、汚れてもよい動きやすい服装

支給物

「セイカいろがみ」、カッターナイフ、カッターマット、はさみ、定規 (30cm)、アイロンプリントシート、トートバッグ

求める人

- ・ ムービーやゲーム、デジタルアートなどのエンタテインメントの制作や発信を通じて社会を楽しくしていきたいと考えている人
- ・ 人と関わりグループで制作する事が好きな人
- ・ 分かりやすく魅力的に伝える為に工夫するのが好きな人
- ・ 計画的に物事を進めたり、自己管理ができる人
- ・ 日本語での円滑なプレゼンテーションを行える人

プログラム レクチャー、制作、プレゼンテーション

テーマ・内容

メッセージスタンプをデザインしよう！

あなたの地元の特徴と、あなたの個性を組み合わせたオリジナルキャラクターでメッセージスタンプをデザインし、その魅力をプレゼンテーションで伝えてもらいます。

1. オリジナルキャラクターのデザイン

地元のユニークな要素とあなたの個性を融合させ、世界に一つだけのキャラクターをデザインしましょう。このステップでは、想像力と創造性が重要です。

2. メッセージスタンプのデザイン

あなたが作ったキャラクターで、オリジナルのメッセージスタンプをデザインします。多様な表情やポーズでメッセージの幅を広げましょう。

3. プレゼンテーション

デザインしたメッセージスタンプの魅力を日本語で明確にプレゼンテーションしてください。

時間割

- 10:00 集合
 10:30 スタッフ、本日のスケジュール紹介
 10:45 スタンプ制作レクチャー
 11:00 スタンプ制作
 12:30 休憩
 13:30 スタンプ制作
 14:30 プレゼンテーション
 17:15 まとめ
 17:30 終了

※受験者数によって時間割を変更する場合があります。

評価のポイント

- ・ 地元と自分の魅力を引き立てるアイデアになっているか
- ・ 視覚的に魅力的なデザインになっているか
- ・ 明確で簡潔なプレゼンテーションになっているか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、カッターナイフ（鉛筆を削るための使用に限る）、消しゴム

支給物

色鉛筆（12色セット）、サインペン（黒）

デザイン学部 イラスト学科（イラスト/モーションイラスト）

体験授業

求める人

イラスト学科には色々な人が集まります。「絵を描くことが好きな人」「デザインに興味がある人」「アニメーションや映像作品に興味がある人」「オシャレなものやカワイイものに目がない人」「流行に敏感な人」・・・。イラストの表現スタイルは多様です。自分らしさを意識して、楽しんで描いてください。

プログラム ミニ講義、レクチャー、実制作、作品講評

テーマ・内容

～与えられた「ことば」からイメージしてイラストを描こう！～

与えられた「ことば」から、自由にイメージを膨らませてイラストを描きます。

- ・ ミニ講義：主にイラストやデザインに関連した内容を講義します
- ・ レクチャー：制作するためのポイントやアドバイスをします
- ・ 実制作：A4サイズの画用紙に描きます。（制作時間：2時間30分）
- ・ 作品講評：教員が仕上がったイラストについて講評します

時間割

- 10:00 集合
 10:30 ミニ講義
 11:30 「ことばからのイラスト」レクチャー
 12:00 休憩
 13:00 「ことばからのイラスト」実制作開始
 15:30 実制作終了
 15:40 作品講評
 17:30 終了

評価のポイント

- ・ 描画力
- ・ イメージ力
- ・ 取り組む姿勢

持参できる用具

各自が作品制作に使う画材（アクリルガッシュ、ポスターカラーなどの水溶性絵具、筆、筆洗、パレット、色鉛筆、サインペン、マーカーなど）、鉛筆やシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、カッターナイフ（鉛筆を削るための使用に限る）、消しゴム、メモを取るためのノート、画板（カルトン）

支給物

上記の持参できる用具以外に試験に必要な用具・材料は支給します。

求める人

生活に関わるモノ・コトに興味があり、自らのデザインで生活を豊かに、より良いものにしたいという希望を持っている人、また生活を楽しむことができる人です。総合型選抜1期では、そういった私たちの暮らしを考えること、家電や自動車、文具や家具、ファッションなどのプロダクトを企画することが好きな人を求めます。

プログラム レクチャー、プランニング、アイデアスケッチ、発表

テーマ・内容

未来のプロダクトを考えよう！

自分の気になっているモノを持参し、参加者みんなに紹介しましょう。それらを他の人と交換し、交換したモノをモチーフとして、未来の暮らしを考え、プロダクトを考えます。

体験授業では、「誰が、いつ、どんな場所で、どのように使うのか、身につけるのか」と与えられたキーワードを条件として、様々な視点から未来の暮らしを想像（創造）します。あなたのデザインするプロダクトが、モノの魅力を最大限に引き出し際立たせることで人々の暮らしを豊かに変えていく、そうした楽しみを発見する授業です。

時間割

- 10:00 集合
- 10:30 自己紹介と持参したモノの紹介
- 11:30 レクチャー
- 12:00 休憩
- 13:00 プランニング
- 14:30 アイデアスケッチ
- 16:00 発表・講評
- 17:30 終了

評価のポイント

- ・ 意欲的に取り組めたか
- ・ 持参したモノの紹介は適切にできたか
- ・ 人を幸せにする為のアイデアを、広くたくさん展開できたか
- ・ 自分の企画をわかりやすく伝えることができたか
- ・ 他者の意見・発表を聞く姿勢が持てたか

試験時に持参するもの

あなたの気になっているモノを1点持参して下さい（例えば、時計、筆箱、ワンピース、かばん、自動車、椅子など）。持ってくるのが困難なものは写真をA4サイズ以上にプリントしたものを持参してください。
※他の人が持参したモノに触れることがあります。

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、カッターナイフ（鉛筆を削るための使用に限る）、消しゴム

支給物

プランニングシート、用紙（ケント紙）、色鉛筆、サインペン、30cm定規、コンパス、その他に試験に必要な用具・材料は支給します。

求める人

建築デザイン、環境デザインに必要な視点は、身の周りの環境に興味を持ち、その場を使う人間の立場にたって、提案しようとする姿勢を持つことです。人々が生活する環境をより良くしたいと考える人を求めます。

プログラム レクチャー、調査、デザイン制作、発表

テーマ・内容

小さな空間

大学敷地内にある学生のための施設（学生会館）には、様々な使われ方がなされる部屋があり、学生活動の中心となる交流のための場所です。多くの人と交流する学生会館の中に、1人で過ごす「小さな空間」を考えてみましょう。現地を観察し、その場所の特徴を活かしながら具体的にイメージしてデザインしてみます。1人で行う行動、休む、寝る、食べる、飲む、読む、考える、書く、描く、つくる、遊ぶ・・・など、その場所で行われる行為を想定し、新しい場所について考えてみます。

時間割

- 10:00 集合
- 10:30 レクチャー
- 11:00 現地の視察調査、提案アイデア作成
- 12:30 休憩
- 13:30 各自アイデアの意見交換
- 14:00 各自アイデアの具体的なデザイン作業
- 16:00 各自アイデアの発表と意見交換
- 17:00 まとめと振り返り
- 17:30 終了

評価のポイント

- ・ 意欲的に取り組むことができたか
- ・ 新しいデザインを提案することができたか
- ・ 自分の提案内容をわかりやすく伝えることができたか
- ・ 他者の意見や提案を理解しようとする姿勢を持っていたか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、カッターナイフ（鉛筆を削るための使用に限る）、消しゴム

支給物

スケッチ用紙、ケント紙

求める人

- ・ オリジナルのストーリーを作りマンガを描きたい意欲のある人
- ・ 日本のマンガ文化に興味を持ち探究心がある人
- ・ マンガを作るために必要なコミュニケーション能力があり、マンガで人を楽しませることが好きな人

プログラム レクチャー、プロット・ネーム・原稿（下描き）制作

テーマ・内容

教員から学ぶ「日本の出版マンガの基本とストーリー作り」

普段授業で行っている「教員から丁寧なアドバイスを受けながら作品を制作する」形で、日本の出版マンガの基本とストーリー作りを学ぶ体験授業です。アイデア用紙に提示された「お題（作品テーマ）」に沿ってマンガを制作してください。

時間割

- 10:00 集合
- 10:30 授業説明、ネーム構成と見開き表現についてのレクチャー
- 11:00 ショートストーリー（4ページ）のアイデア出し、ネーム制作
- 12:30 休憩
- 13:30 ネームの制作
- 14:30 下絵の制作
- 17:30 ネームと下絵の提出・終了

※制作時には、随時教員に相談してアドバイスを受けられます。

評価のポイント

- ・ マンガ制作へ臨む姿勢
- ・ 個別指導の受け止め方、アドバイスの活かし方などの本人の対応と制作意識（言語読解力を含める）
- ・ 制作した作品の内容（アイデア力・構成力・画力などを総合的に判断）

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、カッターナイフ（鉛筆を削るための使用に限る）、消しゴム

支給物

ネーム用紙（4ページ分）、マンガ用原稿用紙（B4サイズ）、定規、版面レジュメ、アイデア用紙

求める人

自分の描いたマンガで多くの人を楽しませたい、驚かせたい、ゾクゾクさせたい、笑顔にしたい、笑わせたい、深く考えて欲しいなど、読者に届けたい思いを持った人。また SNS などデジタルに対応できるマンガの描き方を学びたい人。

プログラム レクチャー、グループワーク、マンガ制作

テーマ・内容

SNS 向け短編マンガを描こう

インターネットの普及により、ちょっとした合間にスマートフォンを開いて SNS に投稿されている短いマンガを読む、というマンガの読まれ方が一般化しました。そんな SNS に向けた、短編マンガを描くために必要な知識と技術をレクチャーします。その後でグループに別れて与えられたキーワードからストーリーを発想するためのディスカッションを行い、その発想を基に4ページのマンガ作品を制作します。授業の後半では作品を回収して教員が講評をします。同じキーワードでも人によって捉える視点が違うということ、SNS で多くの人々の心を捉えるには何が必要かを理解してもらうのがこの授業のねらいです。

「新世代マンガコース受験生応援サイト」には総合型選抜に関する詳しい情報が掲載されています。



新世代マンガコース受験生応援サイト
<https://shinsedai.kyoto-seika.ac.jp>

時間割

- 10:00 集合
- 10:30 レクチャー
- 11:15 グループワーク
- 12:00 休憩
- 13:00 制作①
- 14:30 休憩
- 14:40 制作②
- 16:20 休憩
- 16:30 講評
- 17:30 終了

評価のポイント

- ・ 【基礎力】マンガの基本的な文法を理解しているか
- ・ 【構成力】ストーリーが上手くまとめられているか
- ・ 【画力】情報を適切に伝えるための画力を持っているか
- ・ 【演出力】効果的なコマ割りで見せるべきところをしっかりと見せられているか
- ・ 【グループワークでの評価】論理的思考力・協調性・自己表現力・積極性

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、カッターナイフ（鉛筆を削るための使用に限る）、消しゴム、直定規（三角定規も可）

※ ノートの持ち込み不可

支給物

定規、鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、メモ・ラフ用紙、作画用紙

求める人

社会の様々なことに興味を持ち、それらをキャラクターやイラストを用いて表現すること、またキャラクターやイラストを用いて理解を広げることに関心のある者。

プログラム レクチャー、グループディスカッション、制作

テーマ・内容

キャラクターデザインの意義を理解し、オリジナルキャラクターを描こう

午前の部（グループに分けて小部屋で実施する）：

コース紹介動画を視聴した後、持参物を使って、自分が今までやってきたことを3分以内で同じグループのメンバーと担当教員に発表してください。

午後の部（大教室で実施する）：

「キャラクターデザインとは何か」をテーマとした教員によるレクチャーの後、与えられたテーマを元に絵を描く課題に取り組みます。テーマに従い、キャラクターはどのように活躍できるのかを考えて、構図の異なるラフを4枚描いてください（構図の違いがみてわかるぐらいの簡潔なもので構わない）。その後、ラフの中から1点を選んで、キャラクターの全身が入る背景付きの、A4サイズ1枚のイラストをカラーで仕上げます。合わせて、今回の課題を説明する文章を原稿用紙に書き、自分の考えをまとめます。

これらの体験授業を通じて、「キャラクターデザインとは何だろうか？」について考えながら、あなたが創造するキャラクターの可能性を探ります。

時間割

- 10:00 集合
- 10:30 午前の部：コース紹介動画&演習説明
- 11:00 午前の部：グループディスカッション（口頭発表）
- 12:30 休憩
- 13:30 午後の部：午後の部の会場で再集合、レクチャー
- 14:00 午後の部：課題制作
- 17:30 終了

評価のポイント

- ・ 画力、発想力、ユニークな視点があるか
- ・ 様々な事に興味を持ってチャレンジしているか
- ・ 自分が作品を作るときの考えやこだわりについて、言葉（口頭・文書）を通じて伝えられるか
- ・ コースの教育目的「キャラクターの見た目と中身を両方デザインする」、「よく観察して楽しんで描く」、「常に新しいものを取り入れ、常識にとらわれない」を理解して実践したか

試験時に持参するもの

午前中の部では、自分の作品を持参して紹介する口頭発表があるため、以下のものを準備してください。

【持参が必須の作品】アナログ平面作品1枚（現物、サイズはA4以上の大きさ）と、デジタルツールで制作した作品1枚（A4サイズにプリントアウト）。試験までに必ず両方準備してください。

【任意で持参する作品】デッサン、クロッキー、スケッチ、イラスト、アニメーション、立体物の写真など自身で作成したものなら何でも良い（発表時にタブレットとスマートフォンの使用は可能）。

【注意点】持参作品を制作するための用具は、アナログ画材、デジタルツールともに自由ですが、AI作画によるものは禁止します。

持参できる用具

鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、カッターナイフ（鉛筆を削るための使用に限る）、着彩用具（色鉛筆、水彩絵具、アクリル絵具、パステル、マーカー、筆、筆洗、パレットなど）

※ カラーチャート、クリップボードの持参は不可

支給物

作画用紙、下書き用紙、作文用紙

求める人

映像を通してメッセージを送りたい、絵を動かす喜びを味わいたい、という人向けです。アニメーターは役者であり、画力だけでなく演技力、演出力が求められます。

プログラム レクチャー、制作、面接

テーマ・内容

アニメーション制作の基礎となる発想力を活かし、イメージをイラストにしよう

最初に、「演技について」のレクチャーを受けます。次にそれをふまえて、アニメーション作品制作に必要な「発想力と表現力」に重点をおいた課題作成ワークショップを行います。与えられたテーマ（簡単な言葉）から自由に発想し、あなたのアイデアや世界観をイラストと文章（作文）として表現します。この課題制作では、どれだけの発想力を持ち、それを絵や文章で表現できるかを評価します。制作した作品について、教員のアドバイスや、意見を聞いたりする機会もあります。自分自身がわくわくするようなイラストを描いてみましょう。将来2D、3D、クレイなどのアニメーション映像を作るうえで必要となる基礎をしっかり学びましょう。

また、ワークショップと並行して、グループ面接を行います。面接では、あなたの学ぶ意欲などについてお聞きします。

時間割

- 10:00 集合
- 10:30 レクチャー「演技について」
- 12:00 休憩
- 13:00 ワークショップ「イメージ表現作成」、グループ面接
- 17:00 まとめ
- 17:30 終了

評価のポイント

- ・ 独自の発想やアイデアをもとに、人をアツと言わせるような着想で課題制作に取り組んだか
- ・ 積極的にワークショップ、面接に参加することができたか
- ・ アニメーションの基礎となる発想力や表現力を深めることができたか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、カッターナイフ（鉛筆を削るための使用に限る）、消しゴム、着彩用具（色鉛筆、水彩絵具、アクリル絵具、パステル、マーカー、筆、筆洗、パレットなど）

※ 事前に作成した発想ノートやメモ類、色見本の持参は不可

支給物

画用紙（A3）、下書き用紙、作文用紙

総合型選抜 2 期（エントリー方式）

総合型選抜 2 期では志望先を選んでエントリーして、学科・コースごとに実施する個別プログラムに取り組んでもらいます。試験の結果と「自己推薦書」から総合的に評価して、出願可否を発表します。「出願可」を受けた方が出願へと進み、書類審査を経て最終的な可否を発表します。

試験方式

この入試では学科・コースごとの個別プログラムを実施します。

実施学部	試験方式	配点	出題内容	時間
国際文化学部	小論文・面接、自己推薦書	250点(200点+50点)	個別プログラムで与えられた課題に取り組む。 実施内容、持参できる用具などについては32ページを確認してください。	32～36ページの 時間割を確認してください。
メディア表現学部 芸術学部 デザイン学部	個別プログラム、自己推薦書	250点(200点+50点)	個別プログラムで与えられた課題に取り組む。 実施内容、持参できる用具などについては33～36ページを確認してください。	

出願書類

エントリー	自己推薦書	エントリー時に自己推薦書の提出が必要です。あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度（上限1200字）で記述してください。
	事前課題	メディア表現学科、グラフィックデザインコース、デジタルクリエイションコースでは、自己推薦書の他に事前課題の提出が必要です。詳しくは個別プログラムのページを確認してください。
	試験時に持参するもの	メディア表現学科、グラフィックデザインコース、イラスト学科では、試験当日に持参するもの（資料、作品など）があります。詳しくは個別プログラムのページを確認してください。
出願	学びの計画書	個別プログラムに参加して、あなたが学んだこと、気づいたこと、興味を持ったことや、それをふまえて入学後にどのように学びたいかについて800字程度（上限1200字）で記述してください。
	学歴証明書類	出身学校が発行した調査書、卒業見込証明書、卒業証明書いずれかの原本を1通提出してください。
	外国人留学生の提出書類	外国人留学生の方は学歴証明書類に加えて提出が必要な書類があります。詳しくは50ページの「外国人留学生の出願資格」を確認してください。

試験日程

	エントリー期間	受験票印刷日	試験日	出願可否発表日
エントリー	2024年9月26日(木) 0:00～ 9月30日(月) 23:59	10月9日(水) 12:00～	10月13日(日)	10月18日(金) 12:00
	出願期間	可否発表日	入学手続締切日	
出願	10月18日(金) 12:00～ 10月23日(水) 23:59	11月1日(金) 12:00	11月8日(金)	

入学検定料

エントリー	エントリー時の入学検定料は0円です。
出願	30,000円

試験会場

京都精華大学

学内併願

この入試では学内併願することはできません。

求める人

- ・ 幅広い視野や国際的な観点から、日本の文化や歴史、文学、社会のことを学びたい人
- ・ いろんなフィールドに飛び出して異文化と直接触れ合いたい人
- ・ 個性的な考え方を身に付けたり、あるいは伸ばしたりしたい人
- ・ 自分とは違う考え方や異なる意見に触れて、新たな発見をしてみたい人

プログラム レクチャー、小論文、面接

テーマ・内容

グローバルとローカルの視点から

人文学科では、1年次にはグローバルな視野のもとで自文化について理解を深め、2年次からは専攻に分かれてより専門的に学ぶことで、自分の問題意識を深めていきます。このプログラムではまず、「共通テーマ」について国際文化学部の複数の教員が異なる視点から行うレクチャーを受け、学部の学びの多様さ、幅広さを体感してもらいます。レクチャー中には所定の用紙にメモを取り、疑問や質問を書いてもらいます。それらをもとに、レクチャー担当者からフィードバックを受けたいと、改めて「共通テーマ」について自分が考えたことを小論文(800字程度)にまとめます。教員との面接では、志望理由、入学後に学びたいこと、現在の興味・関心などに関する質疑応答を通して、自身の興味・関心や学びたい意欲と、学科の学びとのつながりを確認します。学び、考え、そして他者に向けて発信するという学部での学びのプロセス全体を体験します。

共通テーマ例：「病・感染症」、「戦争」、「旅」

時間割

- 12:30 集合
- 13:00 レクチャー
- 14:00 休憩
- 14:15 レクチャー担当者からのフィードバック
- 14:45 小論文と面接(途中休憩あり)
- 16:00 終了

評価のポイント

- ・ 【レクチャー】内容の要点及び疑問や質問などをメモ用紙に適切に記入できているか
- ・ 【小論文】レクチャーを理解したうえで書かれているか、自分なりの考えが書かれているか、文章全体の構成が論理的か、わかりやすい日本語で書かれているか
- ・ 【面接】志望理由が明確か、大学で学ぶ意欲があるか、筋道立てて話し論理的に思考しているか、これまでの活動から積極性が見て取れるか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)、消しゴム

支給物

メモ用紙

求める人

- ・ 異なる地域や国、文化に飛び込んでみたい人
- ・ 世界各地さまざまな人々の視点を学び、かつ、自分自身の視点を見つけた人
- ・ 国内外においてグローバルな社会で活躍や表現をしたい人
- ・ 海外を視野に入れて新しいことに挑戦したい人
- ・ 語学に興味がある人

プログラム レクチャー、小論文、面接

テーマ・内容

グローバルとローカルの視点から

グローバルスタディーズ学科では、4年間の間に最大3度のフィールドワークを行います。フィールドワークは「旅行」とは大きく異なります。本や映像で目にした社会の中に実際に入り込み、同じ生活空間を共有することで、他者の生活を体験し、書物や映像からだけでは知りえない地域や社会を知り、理解することを目指します。このプログラムではまず、「共通テーマ」について国際文化学部の複数の教員が異なる視点から行うレクチャーを受け、学部の学びの多様さ、幅広さを体感してもらいます。レクチャー中には所定の用紙にメモを取り、疑問や質問を書いてもらいます。それらをもとに、レクチャー担当者からフィードバックを受けたいと、改めて「共通テーマ」について自分が考えたことを小論文(800字程度)にまとめます。教員との面接では、志望理由、入学後に学びたいこと、現在の興味・関心などに関する質疑応答を通して、自身の興味・関心や学びたい意欲と、学科の学びとのつながりを確認します。学び、考え、そして他者に向けて発信するという学部での学びのプロセス全体を体験します。

共通テーマ例：「病・感染症」、「戦争」、「旅」

時間割

- 12:30 集合
- 13:00 レクチャー
- 14:00 休憩
- 14:15 レクチャー担当者からのフィードバック
- 14:45 小論文と面接(途中休憩あり)
- 16:00 終了

評価のポイント

- ・ 【レクチャー】内容の要点及び疑問や質問などをメモ用紙に適切に記入できているか
- ・ 【小論文】レクチャーを理解したうえで書かれているか、自分なりの考えが書かれているか、文章全体の構成が論理的か、わかりやすい日本語で書かれているか
- ・ 【面接】志望理由が明確か、大学で学ぶ意欲があるか、筋道立てて話し論理的に思考しているか、これまでの活動から積極性が見て取れるか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)、消しゴム

支給物

メモ用紙

求める人

- ・すでに高校での活動、個人活動でプログラミング技術を習得し、プログラミング・コンテストなどの応募実績を示せる人
- ・自作のプログラミングで制作した作品があり、試験の質疑応答で作品についての説明ができる人
- ・与えられた要件を元に自分のアイデアでプログラミングできる人

プログラム プログラミング試験、質疑応答

テーマ・内容

世界中の人が使える、新しい Web サービスのプログラミング

総合型選抜2期では、すでに高校での活動、個人活動でプログラミング技術を習得している受験生を対象とし、グローバル視点での Web サービス作成のためのコード記述試験を実施します。その上で、面談を行い、試験で記述した内容、事前課題（これまで制作したプログラミングを用いた作品）についての質疑応答を行います。

具体的には、

- ① プログラミングコードを記述し、基礎的なプログラミングロジックを作成するための出力問題。
- ② 上記「①」で作成したプログラミングコードを、諸外国の状況に適応させるために、何が必要かの記述問題。
- ③ 上記「①」「②」で記述した内容についての質疑応答と、事前課題（これまでに自分でプログラミングを用いて制作した作品）についての紹介と質疑応答。

試験①、②では本学設置のパソコンを使用し、「paiza.IO」というオンライン実行環境にてプログラミングをしてもらいます。また、試験③では各自が持参したノート PC などを使用してください。

事前課題 (エントリー時)

事前課題として、これまでにプログラミングで制作したことがあるもの（ソースコード）を提出してください。

【提出期限】2024年9月30日(月) 23:59

【提出方法】2024年7月頃に大学 Web サイトで公開する『入学試験要項』を確認してください。



paiza.IO を使用したことがない方は、左記の QR コードからアクセスして事前に試すことができます（無料）。

URL <https://paiza.io/ja>

時間割

12:30 集合 (本人確認・試験実施の説明)

13:00 【試験①、②】プログラミング試験

15:00 休憩・質疑応答準備

15:15 【試験③】質疑応答 (受験番号順に実施)

※「【試験③】質疑応答」を終えた受験生はそのまま帰宅してください。

評価のポイント

【プログラミング力】

- ・与えられた要件を元に自分のアイデアでプログラミングできる

【理解・応用力】

- ・単純にプログラミングできるだけでなく、出題意図を正しく理解して、汎用性や使いやすさを考えてわかりやすくコードを書くことができる

【社会・メディアへの関心】

- ・出題意図に沿ってプログラミングを改変するにあたり、グローバル視点、ユーザー視点が必要とされる様々な要素を考慮しながら柔軟にコードを書くことができる
- ・これまでに自作したプログラミングを用いた作品から、社会課題の解決や新しいメディア創造の意欲が読み取れる

試験時に持参するもの

- ・ノート PC またはタブレット (試験③で使用)
- ・事前課題 (ソースコード) の内容について補足して紹介できる資料
例) 作品の画像をパネルにして動きを解説できる資料、実際にユーザーが使っている場面の画像をパネルにした資料、IoT のプログラミングを紹介する場合はシステム図などを印刷物またはデータで持参してください。

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り (電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)、消しゴム

支給物

質疑応答時のインターネット接続環境 (Wi-fi) は本学が用意します。

求める人

- ・ 多様な芸術表現に興味、関心が持てる人
- ・ 課題に対して真摯に向き合い、熱意をもって取り組むことができる人
- ・ 他者とコミュニケーションがとれる人

プログラム 制作、発表

テーマ・内容

描く自分に出会うこと

鉛筆デッサンの体験授業です。用意された様々なモチーフの中から各自好きなものを1つだけ選んで、じっくり時間をかけて描きます。デッサンにおいて、形を正確にとらえることは大事なことでありますが、この授業では、むしろ質感や存在感を表現することを大切にします。そのため、不定形物をモチーフに用意します。モチーフの細部までしっかり描き切る事を目標にして下さい。選んだモチーフへの興味を動機として、描き進める楽しさ、描き切ったという達成感を体験できるような授業を用意しています。

時間割

- 12:30 集合
- 13:00 課題説明、各自モチーフ選び
- 13:30 選んだモチーフのクロッキー
- 14:00 デッサン
- 16:00 作品発表・講評(モチーフを選んだ理由、描きながら考えたこと。教員からの作品評など)
- 17:30 終了

評価のポイント

- ・ 描くことに集中することができるか
- ・ 教員とコミュニケーションがとれたか
- ・ 観察力が感じられるか
- ・ 質感や存在感を表現する努力がみられるか

持参できる用具

使い慣れた鉛筆デッサン用具(なければHB~6Bの鉛筆を各数本、消しゴム(練り消しゴム含む)、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)、カッターナイフ、メモを取るためのノート(事前に書いたスケッチ、メモなどは持込み不可)、体操着・作業着・エプロンなど汚れてもよい服装)

支給物

モチーフ(各種)、画用紙、その他に試験に必要な用具・材料は支給します。

求める人

グラフィックデザインは、まだまだいろいろ可能性にあふれています。グラフィックデザインコースでは、身のまわりの世界をもっと美しくしたい、楽しくしたい、面白くしたい、もっと心地よくしたいなどの「変化させたい気持ち」が溢れている人達を求めています。そんな多様で個性的な仲間が集まり、好奇心全開で「新たなグラフィックデザイン」を探究する場が本学のグラフィックデザインコースであることを願っています。世の中に「うきうきする変化」を与えたい人達を強く求めています。

プログラム ポートフォリオ、作品プレゼンテーション、面接

テーマ・内容

ポートフォリオのプレゼンテーションと作品面接

グラフィックデザインには、さまざまな制作、表現、可能性が存在しています。その萌芽として、日々すでに精力的に制作に励んでいる方を求めています。その足跡、成果をポートフォリオにまとめてください。面接では実物の作品1点について説明するプレゼンテーションを行ってまいります。あなたの成果と作品の魅力をアピールしてください。

エントリー時に提出してもらったポートフォリオについては、以下の内容を参考にしてください。

- ・ デッサン：鉛筆デッサン、木炭デッサンなど
- ・ 鉛筆描画：スケッチ、クロッキー、ドローイングなど
- ・ 色彩構成：水彩画、油絵、版画など
- ・ ビジュアルデザイン表現：ポスター、写真、ロゴデザイン、タイポグラフィ、パッケージなど
- ・ イラストレーション：オリジナルキャラクター、マンガ、フィギュアなど
- ・ 立体造形：彫刻、陶芸などを写真に撮ったもの
- ・ CG作品：映像作品などを画像化したもの
- ・ その他：グループ制作などの資料、創作文など

事前課題(エントリー時)

エントリー時に「ポートフォリオ」の提出をお願いします。ポートフォリオの提出様式は、以下の通りとします。

- ・ A4サイズ30ページ以内(表紙を除く)として、ポートフォリオの表紙に氏名を明記してください。

※製本は行わず既製品のクリアファイルを使用してください。

【提出期限】2024年9月30日(月)消印有効(海外から送付する方は9月30日に本学必着)

【提出方法】簡易書留・速達郵便にて入学グループ宛に送付してください。詳しくは53ページの「出願書類の送付」を確認してください。

時間割

- 12:30 集合
 - 13:00 実物の作品1点のプレゼンテーションと面接(順次開始)
1人20~30分程度
プレゼンテーション・面接が終了次第、帰宅してください。
- ※集合時間は受験者数によって変更する場合があります。

評価のポイント

- ・ ポートフォリオ/実作品の熱意、制作意欲、こだわり
- ・ 伝える姿勢
- ・ 教員とのコミュニケーション
これらを総合的に評価します。

試験時に持参するもの

実物の作品1点(形式は問いません)

持参できる用具

実物の作品をデータで見せる場合のノートPCまたはタブレット、黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)、消しゴム

求める人

- ・ ムービーやゲーム、デジタルアートなどのエンタテインメントの制作や発信を通じて社会を楽しんでいきたいと考えている人
- ・ 主体的に作品を制作し、社会にアウトプットしている人
- ・ 分かりやすく魅力的に伝える為に工夫するのが好きな人
- ・ 計画的に物事を進めたり、自己管理ができる人
- ・ 日本語での円滑なプレゼンテーションが行える人

プログラム デジタルポートフォリオ、プレゼンテーション、面接

テーマ・内容

プレゼンテーションと面接

1. プレゼンテーション

この入試では Web サイトや SNS などを利用して、志願者本人の作品をアウトプットしたものを「デジタルポートフォリオ」と呼びます。それを基に、あなたの作品や活動についてプレゼンテーションをしてください。あなたの作品の独自性や制作意図、達成した成果をまとめ、あなたの個性と情熱が伝わるように自信を持って発表してください。

2. 面接

プレゼンテーションの後は、質疑応答の時間が設けられます。このセッションは、あなたの作品や考え方をより深く掘り下げ、理解を深める貴重な機会です。質問に対しては、あなたの作品に対する制作意図を明確に、かつ具体的に答えてください。

事前課題（エントリー時）

志願者本人が作成した作品をアウトプットした Web サイトや SNS を「デジタルポートフォリオ」として提出してください。作品の形式は問いません。エントリー時の「自己推薦書」に、「デジタルポートフォリオ」を閲覧するためのアドレスを必ず記入してください。

記入例：○○○の作品集 URL <https://www.digitalportfolio.com>

【提出期限】2024年9月30日（月）23:59

【提出方法】2024年7月頃に大学 Web サイトで公開する『入学試験要項』を確認してください。

時間割

12:30 集合

13:00 プレゼンテーションと面接（順次開始）

プレゼンテーション・面接が終了次第、帰宅してください。

※ 集合時間は受験者数によって変更する場合があります。

評価のポイント

- ・ 作品のこだわりや特徴、制作意図
- ・ 自分の考えや活動内容を的確に分かりやすく伝えられているか
- ・ 「デジタルポートフォリオ」を効果的に活用しているか

持参できる用具

プレゼンテーションに必要なノート PC やタブレット、HDMI ケーブルに接続するための変換アダプター、黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、消しゴム

支給物

HDMI 出力用モニター、インターネット接続環境（Wi-fi）は本学が用意します。

求める人

イラスト学科には色々な人が集まります。「絵を描くことが好きな人」「デザインに興味がある人」「アニメーションや映像作品に興味がある人」「オシャレなものやカワイイものに目がない人」「流行に敏感な人」……。イラストの表現スタイルは多様です。自分らしさを意識して、アナログやデジタルにかかわらず描くことが好きな人を求めています。

プログラム 自己紹介、作品の説明、面接

テーマ・内容

～ふだんの作品をアピールしよう！～

作品を見ながら面接を実施します。

- ・ 作品点数：ふだん制作している作品など、5点以上
- ・ 作品の形式・サイズは問いません
- ・ 面接は作品のアピールと面接を合わせて10分程度です

時間割

12:30 集合

13:00 面接（順次開始）

面接が終了次第、帰宅してください。

※ 集合時間は受験者数によって変更する場合があります。

評価のポイント

- ・ 意欲
- ・ 作品のクオリティ
- ・ コミュニケーション力

試験時に持参するもの

ふだん制作している作品など、5点以上を持参すること。形式・サイズは問いません。

持参できる用具

作品をデータで見せる場合

- ・ ノート PC またはタブレット
- ・ HDMI ケーブルに接続するための変換アダプター

※ 試験ではインターネット（Wi-fi）は利用できません。作品データは持参するノート PC などに保存してください。

求める人

生活に関わるモノ・コトに興味があり、自らのデザインで生活を豊かに、より良いものにしたいという希望を持っている人、また生活を楽しむことができる人です。総合型選抜2期では、私たちの暮らしを考え、手を動かしてモノを作ることが好きな人を求めます。

プログラム レクチャー、プランニング、アイデアスケッチ、発表

テーマ・内容

未来のプロダクトをつくらう！

与えられたモチーフを未来のプロダクトにデザインし、紙を使ってモデルの制作をします。体験授業では、「誰が、いつ、どんな場所で、どのように使うのか、身につけるのか」未来の暮らしを想像（創造）し、自分のアイデアを実際のサイズで形にしていきます。また、その制作意図を文章で表現し、考えをまとめます。あなたのデザインするプロダクトが、モノの魅力を最大限に引き出し際立たせることで人々の暮らしを豊かに変えていく、そうしたカタチを生み出す授業です。

時間割

12:30 集合
13:00 自己紹介とレクチャー
13:30 プランニング(作文)とアイデアスケッチ
14:00 制作
16:30 発表・講評
17:30 終了

評価のポイント

- ・意欲的に取り組めたか
- ・人を幸せにする為のアイデアを、広くたくさん展開できたか
- ・自分のデザインをわかりやすくカタチにすることができたか
- ・他者の意見・発表を聞く姿勢が持てたか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、消しゴム

支給物

用紙、小型カッターナイフ、ハサミ、カッターマット、30cm定規、セロテープ、スティックのり、ホッチキス、その他に試験に必要な用具・材料は支給します。

求める人

建築デザイン、環境デザインに必要な視点は、身の周りの環境に興味を持ち、その場を使う人間の立場にたって、提案しようとする姿勢を持つことです。人々が生活する環境をより良くしたいと考える人を求めます。

プログラム レクチャー、レポート、発表、面談

テーマ・内容

家

すべての人には、寝る場所や休息する場所、食事をする場所、身体を整える場所が必要です。「家」とは、どのような意味（物理的意味、精神的意味）を持っているのでしょうか。

HouseとHome、何が違うのでしょうか。自分は、どのような場所で、どのような特長を持つ「家」に住んでみたいか、考えてみます。

時間割

12:30 集合
13:00 レクチャー
14:00 各自の意見作成
14:30 休憩
14:45 発表・意見交換
15:30 レポート作成、面談
17:00 まとめと振り返り
17:30 終了

評価のポイント

- ・意欲的に取り組むことができたか
- ・レクチャーの内容を参考にしながら自分の意見を持つことができたか
- ・自分の意見をわかりやすく伝えることができたか
- ・他者の意見を理解しようとする姿勢を持っていたか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、カッターナイフ（鉛筆を削るための使用に限る）、消しゴム

支給物

スケッチ用紙、原稿用紙

総合型選抜 3 期

総合型選抜 3 期では学科ごとに実施する個別プログラムに取り組んでもらいます。試験の結果と「自己推薦書」から総合的に評価して、合否を判定します。この入試はエントリー方式ではありません。また、専願入試ではありませんので、他大学と併願することができます。

試験方式

この入試では学科ごとの個別プログラムを実施します。国際文化学部を志望する方は、「小論文・面接」または「プレゼンテーション（オンライン・録画方式）」のいずれかを選択してください。

実施学部	試験方式	配点	出題内容	時間
国際文化学部	小論文・面接、自己推薦書	250点(200点+50点)	個別プログラムで与えられた課題に取り組む。実施内容、持参できる用具などについては38～39ページを確認してください。	38～40ページの時間割を確認してください。
	プレゼンテーション（オンライン・録画方式）、自己推薦書	250点(200点+50点)	個別プログラムで与えられた課題に取り組む。実施内容、持参できる用具などについては38～39ページを確認してください。	
メディア表現学部	パフォーマンス、自己推薦書	250点(200点+50点)	個別プログラムで与えられた課題に取り組む。実施内容、持参できる用具などについては40ページを確認してください。	

出願書類

自己推薦書	出願時に自己推薦書の提出が必要です。あなたのこれまでの活動実績や制作実績、その成果などについて、なるべく具体的に800字程度（上限1200字）で記述してください。
学歴証明書類	出身学校が発行した調査書、卒業見込証明書、卒業証明書いずれかの原本を1通提出してください。
外国人留学生の提出書類	外国人留学生の方は学歴証明書類に加えて提出が必要な書類があります。詳しくは50ページの「外国人留学生の出願資格」を確認してください。

試験日程

出願期間	受験票印刷日	試験日	合否発表日	入学手続き締切日
2024年11月28日(木) 0:00～ 12月4日(水) 23:59	12月11日(水) 12:00～	12月15日(日)	12月23日(月) 12:00	2025年 1月8日(水)

入学検定料

30,000円

学内併願

この入試では学内併願することはできません。

試験会場

京都精華大学

オンラインの試験はインターネット接続環境（Wi-fi環境推奨）とパソコン、スマートフォンなどの機器を用意した環境（自宅など）で受験してください。

国際文化学部 人文学科（歴史／文学／社会） 小論文・面接

求める人

- ・ 幅広い視野や国際的な観点から、日本の文化や歴史、文学、社会のことを学びたい人
- ・ いろんなフィールドに飛び出して異文化と直接触れ合いたい人
- ・ 個性的な考え方を身に付けたり、あるいは伸ばしたりしたい人
- ・ 自分とは違う考え方や異なる意見に触れて、新たな発見をしてみたい人

プログラム レクチャー、小論文、面接

テーマ・内容

グローバルとローカルの視点から

人文学科では、1 年次にはグローバルな視野のもとで自文化について理解を深め、2 年次からは専攻に分かれてより専門的に学ぶことで、自分の問題意識を深めていきます。このプログラムではまず、「共通テーマ」について国際文化学部の複数の教員が異なる視点から行うレクチャーを受け、学部の学びの多様さ、幅広さを体感してもらいます。レクチャー中には所定の用紙にメモを取り、疑問や質問を書いてもらいます。それらをもとに、レクチャー担当者からフィードバックを受けたいと、改めて「共通テーマ」について自分が考えたことを小論文（800 字程度）にまとめます。教員との面接では、志望理由、入学後に学びたいこと、現在の興味・関心などに関する質疑応答を通して、自身の興味・関心や学びたい意欲と、学科の学びとのつながりを確認します。学び、考え、そして他者に向けて発信するという学部での学びのプロセス全体を体験します。

共通テーマ例：「病・感染症」、「戦争」、「旅」

時間割

- 12：30 集合
- 13：00 レクチャー
- 14：00 休憩
- 14：15 レクチャー担当者からのフィードバック
- 14：45 小論文と面接（途中休憩あり）
- 16：00 終了

評価のポイント

- ・ 【レクチャー】 内容の要点及び疑問や質問などをメモ用紙に適切に記入できているか
- ・ 【小論文】 レクチャーを理解したうえで書かれているか、自分なりの考えが書かれているか、文章全体の構成が論理的か、わかりやすい日本語で書かれているか
- ・ 【面接】 志望理由が明確か、大学で学ぶ意欲があるか、筋道立てて話し論理的に思考しているか、これまでの活動から積極性が見て取れるか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可）、消しゴム

支給物

メモ用紙

国際文化学部 人文学科（歴史／文学／社会） プレゼンテーション（オンライン・録画方式）

求める人

- ・ 幅広い視野や国際的な観点から、日本の文化や歴史、文学、社会のことを学びたい人
- ・ いろんなフィールドに飛び出して異文化と直接触れ合いたい人
- ・ 個性的な考え方を身に付けたり、あるいは伸ばしたりしたい人
- ・ 自分とは違う考え方や異なる意見に触れて、新たな発見をしてみたい人

プログラム プレゼンテーション（オンライン・録画方式）

テーマ・内容

社会問題についてのプレゼンテーション

現在の社会問題の中で、あなたが興味や関心を持っていることを1つ取り上げ、以下についてプレゼンテーションをしてください。制限時間は5分です。また、いくつかの質問に答えてください。

- ① 社会問題の内容
- ② 関心を持った理由
- ③ 社会問題についてあなたが考えたことや学んだこと

※ 受験方法については 20 ページの「オンライン試験の流れ」を確認してください。

時間割

- 10：30 試験案内メールの配信
- 11：00～13：00 の間に受験を完了させること
- ※ 13：00 を過ぎると受験ができません。

評価のポイント

- ・ 社会問題に関して自分なりに理解できているか
- ・ 自分がなぜ関心を持ったかという問題意識がきちんと表現されているか
- ・ 考えたことや学んだことが分かりやすく示されているか

使用が認められるもの

プレゼンテーションでは、資料、作品などを用いて自由に発表することができます。提示する資料はカメラで写せるものであれば形式は問いません。ただし、オンラインでの画面共有やデータの送信はできません。また、メモを読みながら発表することを認めます。

※ グローバルスタディーズ学科を志望する方は「小論文・面接」または「プレゼンテーション（オンライン・録画方式）」のいずれかを選択してください。

国際文化学部 グローバルスタディーズ学科 (国際文化/国際日本学)

小論文・面接

求める人

- ・異なる地域や国、文化に飛び込んでみたい人
- ・世界各地さまざまな人々の視点を学び、かつ、自分自身の視点を見つけたい人
- ・国内外においてグローバルな社会で活躍や表現をしたい人
- ・海外を視野に入れて新しいことに挑戦したい人
- ・語学に興味がある人

プログラム レクチャー、小論文、面接

テーマ・内容

グローバルとローカルの視点から

グローバルスタディーズ学科では、4年間の間に最大3度のフィールドワークを行います。フィールドワークは「旅行」とは大きく異なります。本や映像で目にした社会の中に実際に入り込み、同じ生活空間を共有することで、他者の生活を体験し、書物や映像からだけでは知りえない地域や社会を知り、理解することを目指します。このプログラムではまず、「共通テーマ」について国際文化学部の複数の教員が異なる視点から行うレクチャーを受け、学部の学びの多様さ、幅広さを体感してもらいます。レクチャー中には所定の用紙にメモを取り、疑問や質問を書いてももらいます。それらをもとに、レクチャー担当者からフィードバックを受けたいと、改めて「共通テーマ」について自分が考えたことを小論文(800字程度)にまとめます。教員との面接では、志望理由、入学後に学びたいこと、現在の興味・関心などに関する質疑応答を通して、自身の興味・関心や学びたい意欲と、学科の学びとのつながりを確認します。学び、考え、そして他者に向けて発信するという学部での学びのプロセス全体を体験します。

共通テーマ例：「病・感染症」、「戦争」、「旅」

時間割

- 12:30 集合
- 13:00 レクチャー
- 14:00 休憩
- 14:15 レクチャー担当者からのフィードバック
- 14:45 小論文と面接(途中休憩あり)
- 16:00 終了

評価のポイント

- ・【レクチャー】内容の要点及び疑問や質問などをメモ用紙に適切に記入できているか
- ・【小論文】レクチャーを理解したうえで書かれているか、自分なりの考えが書かれているか、文章全体の構成が論理的か、わかりやすい日本語で書かれているか
- ・【面接】志望理由が明確か、大学で学ぶ意欲があるか、筋道立てて話し論理的に思考しているか、これまでの活動から積極性が見て取れるか

持参できる用具

黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)、消しゴム

支給物

メモ用紙

国際文化学部 グローバルスタディーズ学科 (国際文化/国際日本学)

プレゼンテーション(オンライン・録画方式)

求める人

- ・異なる地域や国、文化に飛び込んでみたい人
- ・世界各地さまざまな人々の視点を学び、かつ、自分自身の視点を見つけたい人
- ・国内外においてグローバルな社会で活躍や表現をしたい人
- ・海外を視野に入れて新しいことに挑戦したい人
- ・語学に興味がある人

プログラム プレゼンテーション(オンライン・録画方式)

テーマ・内容

社会問題についてのプレゼンテーション

現在の社会問題の中で、あなたが興味や関心を持っていることを1つ取り上げ、以下についてプレゼンテーションをしてください。制限時間は5分です。また、いくつかの質問に答えてください。

- ① 社会問題の内容
- ② 関心を持った理由
- ③ 社会問題についてあなたが考えたことや学んだこと

※ 受験方法については20ページの「オンライン試験の流れ」を確認してください。

時間割

- 10:30 試験案内メールの配信
- 11:00~13:00の間に受験を完了させること
- ※ 13:00を過ぎると受験ができません。

評価のポイント

- ・社会問題に関して自分なりに理解できているか
- ・自分がなぜ関心を持ったかという問題意識がきちんと表現されているか
- ・考えたことや学んだことが分かりやすく示されているか

使用が認められるもの

プレゼンテーションでは、資料、作品などを用いて自由に発表することができます。提示する資料はカメラで写せるものであれば形式は問いません。ただし、オンラインでの画面共有やデータの送信はできません。また、メモを読みながら発表することを認めます。

求める人

- ・ 臨機応変に機転の利く表現能力を備え、社会課題解決を射程に置いた独自のパフォーマンスができる人
- ・ すでに特定の領域において対外的にパフォーマンス活動の経験を有し、相応の実績のある人
- ・ 継続性、新規性、適応性に関して高い能力がある人

※ パフォーマンスは、いわゆるライブパフォーマンスや身体表現に限らず、プレゼンテーション、デモなど何かを実行、遂行して見せることを指す。

プログラム パフォーマンス

テーマ・内容

出された題目に対し、即興的なパフォーマンスを行う

メディア表現学部では、理系文系芸術系という括りを超えて、最新のテクノロジーを活用し、社会に新しい価値を提供する、様々なメディアの企画・制作を行います。

取り組んでいただくパフォーマンスには、これまで積み上げてきた経験や実績が反映されており、狭い自己表現ではなく、他者や社会に向けた具体的な包括的なアクションが見られる内容が含まれていることを望みます。限られた時間の中で、自己のキャラクターや独自性が表れるパフォーマンスを期待しています。

【試験当日】

- ・ パフォーマンス1 (準備と本番合わせて10分以内)
自分が行っている表現活動を、自由にパフォーマンスを行う
- ・ パフォーマンス2 (準備と本番合わせて10分以内)
即興で出された題目について、自身の得意な方法で実演を行う

【質疑応答】

- ① すでに取り組んでいる活動 (パフォーマンス1) についての質疑応答
- ② 即興 (パフォーマンス2) についての質疑応答

【当日の即興例】

- ・ 特定のシチュエーションを意識した即興表現を行う
- ・ いくつかのキーワードを元にしたパフォーマンスを行う

自己推薦書に記入すること (エントリー時)

エントリー時の自己推薦書に、以下について800字程度(上限1200字)で必ず記入して提出すること。

- ・ 自分の表現・創作・パフォーマンス活動と実績
- ・ 入学後に学びたいと考えている具体的な内容

時間割

- 12:30 集合
13:00 本人確認・試験の説明
13:30 【試験】パフォーマンスと質疑応答

※ 受験番号順に実施しますので、「【試験】」を終えた受験生はそのまま帰宅してください。受験生全員分を実施した時点で終了とします。1人あたりの試験時間はパフォーマンス1、パフォーマンス2の準備・実演・質疑応答すべてを含んで30分を予定しています。

評価のポイント

【継続性】

- ・ これまで活動してきた内容が、具体的にわかりやすい形で表現できている
- ・ パフォーマンスの内容が、入学後の学びにつながる事が確認できる

【新規性/即興性】

- ・ パフォーマンスに、これまでにない新たな切り口(独自性)が見られる
- ・ 突然の課題に対し、即興力のあるパフォーマンスが瞬時にできる

【本番中の完成度】

- ・ パフォーマンスの熱量の高さが伝わり、説得力を出すことができる
- ・ 本番中で高い完成度を示すことができる

持参できる用具

パフォーマンスをするための道具や作品

例: PC、スマートフォン、その他のガジェット、楽器など

試験室

- ・ ステージ (幅約9m、奥行約5m、高さ約3m)
- ・ 100Vのコンセント

※ ステージ・試験室内でのインターネット利用は不可とします。



ステージ

学校推薦型選抜（公募制）

日本国内の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部などの学校長の推薦を受けた方を対象とした入試です。高等学校などの調査書を得点化し、受験科目の得点と合算して合否を判定します。この入試は専願入試ではありませんので、他大学と併願することができます。

調査書の点数化について

調査書の「全体の学習成績の状況（評定平均値）」を10倍した値を50点満点で得点化します。出願する際は必ず調査書を提出してください。

試験方式

この入試では学部ごとに試験方式を設けています。日程と時間（午前・午後）が重ならない限り、複数の選択が可能です。

日程	試験方式・科目	配点	国際文化	メディア表現	芸術	デザイン	マンガ
11/16（土）	オンライン面接、自己推薦書	200点（150点+50点）	○	○	○	○	○
11/17（日）	午前	イメージ表現	-	-	○ 選択	○ 選択	○ 選択
		英語・国語・数学から2科目選択	○	○			
	午後	小論文	○	○	○ 選択	○ 選択	○ 選択
		鉛筆デッサン	○	-	-		

+

調査書	50点	全体の学習成績の状況（評定平均値）を10倍した値を50点満点で得点化する。
-----	-----	---------------------------------------

試験日程

出願期間	受験票印刷日	試験日	合否発表日	一次入学手続締切日	二次入学手続締切日
2024年11月1日（金）0:00～ 11月6日（水）23:59	11月13日（水） 12:00～	11月16日（土） 11月17日（日）	12月2日（月） 12:00	12月13日（金）	2025年 1月22日（水）

入学検定料

30,000円

試験方式を1つ追加するごとに10,000円が必要になります。

試験会場

京都精華大学

オンラインの試験はインターネット接続環境（Wi-fi環境推奨）とパソコン、スマートフォンなどの機器を用意した環境（自宅など）で受験してください。

学内併願

1つの試験方式につき、第2志望まで学内併願することができます。学内併願は無料です。ただし、オンライン面接方式は第1志望でのみ選択できますので、学内併願することができません。

英語資格・検定試験スコアの利用

英語資格・検定試験のスコアを、「英語」の得点にみなして換算することができます。詳しい情報は58ページの「英語資格・検定試験の利用」を確認してください。

指定校推薦入試

本学が指定する高等学校を2024年度中に卒業見込みで、下記の出願資格を満たす方を受け入れる入試です。合格した場合は本学への入学を確約(専願)するものとします。

出願資格

- ・ 本学で学ぶことに強い意欲を持つ者
- ・ 本学の教育内容をよく理解し、入学後の勉学に明確な目的と熱意を持つ者
- ・ 2025年3月31日までに本学が指定する高等学校を卒業見込みの者で、学校長の推薦を受けた者

※ 選抜基準の詳細については、在籍する高等学校の進路指導の先生に確認してください。

試験方式

この入試では学部ごとに試験方式を設けています。

実施学部	試験方式・科目	配点	出題内容	時間
国際文化学部 メディア表現学部	オンライン面接、自己推薦書	200点	録画方式のオンライン面接により、将来の目標や本学で学びたいこと、これまでの活動や経験の中で学んだことなどについて複数の質問をしますので、回答を録画してください。自己アピールのために、これまでの活動の写真、制作物、書類などを提示することができます。 試験の所要時間は、受験票の提示や、録画した回答の確認などを含め、30分～60分程度です。	試験当日11:00～13:00の間に試験を完了させること
芸術学部 デザイン学部 マンガ学部	オンライン面接・作品審査、自己推薦書	200点		

試験日程

出願期間	受験票印刷日	試験日	合否発表日	入学手続締切日
2024年11月1日(金) 0:00～ 11月6日(水) 23:59	11月20日(水) 12:00～	11月24日(日)	12月2日(月) 12:00	12月13日(金)

入学検定料

30,000円

試験会場

オンラインの試験はインターネット接続環境(Wi-fi環境推奨)とパソコン、スマートフォンなどの機器を用意した環境(自宅など)で受験してください。

作品審査について

芸術学部、デザイン学部、マンガ学部では、高等学校の在籍中に制作した作品(3点以上)を審査します。オンライン面接の際に提示できるよう準備してください。

その他

- ・ 指定校は年度毎に決定しますので、対象校であるかについては在籍する学校に問合せください。
- ・ 募集する学部、学科は指定校によって異なります。
- ・ 指定校推薦入試の募集要項は対象の学校に送付します。
- ・ 外国人留学生の方は上記の出願資格の他にも条件がありますので、50ページの「外国人留学生の出願資格」を確認してください。
- ・ 指定校推薦入試に出願する方は、学校推薦型選抜(公募制)に出願することはできません。
- ・ この入試の合格者は以降の入試に出願することはできません。
- ・ この入試の合格者は一般選抜1期、外国人留学生入試2期の合格者を対象とする入学試験成績優秀特待生の対象にはなりません。

一般選抜

一般選抜は1期、2期、3期にて実施します。この入試は専願入試ではありませんので、他大学と併願することができます。

試験方式

この入試では学部ごとに試験方式を設けています。日程と時間（午前・午後）が重ならない限り、複数の選択が可能です。

日程		試験方式・科目	配点	国際文化	メディア表現	芸術	デザイン	マンガ
1期	2/4 (火)	オンライン面接、自己推薦書	200点 (150点+50点)	○	○	-	-	-
	2/5 (水)	英語・国語・数学から2科目選択	200点 (100点×2科目)	○	○	-	-	-
	2/6 (木)	午前 イメージ表現	200点	-	-	○ 選択	○ 選択	○ 選択
		英語・国語・数学・日本史・世界史から2科目選択	200点 (100点×2科目)	○	○	○ 選択	○ 選択	○ 選択
		午後 小論文	200点	○	○	○ 選択	○ 選択	○ 選択
	鉛筆デッサン	200点	-	-	○ 選択	○ 選択	○ 選択	
2期	2/20 (木)	オンライン面接、自己推薦書	200点 (150点+50点)	○	○	-	-	-
3期	3/8 (土)	オンライン面接、自己推薦書	200点 (150点+50点)	○	○	-	-	-

試験日程

日程	出願期間	受験票印刷日	試験日	合否発表日	入学手続締切日
1期	2025年1月7日(火) 0:00～ 1月16日(木) 23:59	1月29日(水) 12:00～	2月4日(火) 2月5日(水) 2月6日(木)	2月18日(火) 12:00	2月25日(火)
2期	2025年2月4日(火) 0:00～ 2月12日(水) 23:59	2月17日(月) 12:00～	2月20日(木)	2月27日(木) 12:00	3月7日(金)
3期	2025年2月22日(土) 0:00～ 3月1日(土) 23:59	3月5日(水) 12:00～	3月8日(土)	3月14日(金) 12:00	3月20日(木・祝)

入学検定料

30,000円

試験方式を1つ追加するごとに10,000円が必要になります。

試験会場

京都精華大学

オンラインの試験はインターネット接続環境（Wi-fi環境推奨）とパソコン、スマートフォンなどの機器を用意した環境（自宅など）で受験してください。

学内併願

1つの試験方式につき、第2志望まで学内併願することができます。学内併願は無料です。ただし、オンライン面接方式は第1志望でのみ選択できますので、学内併願することができません。

英語資格・検定試験スコアの利用

英語資格・検定試験のスコアを、「英語」の得点にみなして換算することができます。詳しい情報は58ページの「英語資格・検定試験の利用」を確認してください。

大学入学共通テスト利用入試

大学入学共通テスト利用入試は、令和7年（2025年）度の大学入学共通テストの成績の中から、高得点の2教科・2科目を利用して合否を判定する入試です。

本学が指定する教科・科目

本学が指定する教科・科目は下記の通りです。旧教育課程履修者に対しては、「経過措置科目」の利用を認めます。

教科	グループ	科目	経過措置科目	配点
国語		「国語」（近代以降の文章） ※100点満点に換算します。	-	200点 (100点×2科目)
地理歴史 公民		「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」「公共、倫理」「公共、政治・経済」「地理総合/歴史総合/公共」	「旧世界史A」「旧世界史B」「旧日本史A」「旧日本史B」「旧地理A」「旧地理B」「旧現代社会」「旧倫理」「旧政治・経済」「旧倫理、旧政治・経済」	
数学	①	「数学Ⅰ、数学A」「数学Ⅰ」	「旧数学Ⅰ・旧数学A」「旧数学Ⅰ」	
	②	「数学Ⅱ、数学B、数学C」	「旧数学Ⅱ・旧数学B」「旧数学Ⅱ」「旧簿記・会計」「旧情報関係基礎」	
理科		「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」 ※選択した2つの出題範囲（計100点）を1科目として扱います。 「物理」「化学」「生物」「地学」	-	
外国語		「英語（リスニングを含む）」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 ※「英語」のリーディングとリスニングの配点を1：1として、合計100点満点に換算します。	-	
情報		「情報Ⅰ」	「旧情報」	

試験日程

日程	出願期間	受験票印刷日	試験日	合否発表日	入学手続き切日
1期	2025年1月7日（火）0：00～ 1月16日（木）23：59	1月29日（水） 12：00～	本学独自試験 実施なし	2月18日（火） 12：00	2月25日（火）
2期	2025年2月4日（火）0：00～ 2月12日（水）23：59	2月17日（月） 12：00～	本学独自試験 実施なし	2月27日（木） 12：00	3月7日（金）
3期	2025年2月22日（土）0：00～ 3月1日（土）23：59	3月5日（水） 12：00～	本学独自試験 実施なし	3月14日（金） 12：00	3月20日（木・祝）

入学検定料

10,000円

学内併願すると、5,000円が追加で必要になります。

試験会場

本学独自の試験は実施しません。

学内併願

第2志望まで学内併願することができます。

大学入学共通テスト利用入試の実施について

大学入学共通テスト利用入試の実施は、学部、入試種別ごとに異なります。

日程	国際文化学部 メディア表現学部	芸術学部 デザイン学部 マンガ学部
1期	○	○
2期	○	-
3期	○	-

外国人留学生入試

外国人留学生入試は在留資格「留学」を有している方、または入学に際して在留資格「留学」を取得する見込みの方を対象とした入試です。ただし2期は出願時点で在留資格「留学」を有している必要があります。1期、2期いずれも専願入試ではありません。他大学と併願することができます。

試験方式

この入試では学部ごとに試験方式を設けています。日程と時間（午前・午後）が重ならない限り、複数の選択が可能です。

日程		試験方式・科目	配点	国際文化	メディア表現	芸術	デザイン	マンガ	
1期	11/16 (土)	オンライン面接、自己推薦書	200点 (150点 + 50点)	○	○	○	○	○	
	11/17 (日)	午前	イメージ表現、日本語作文	200点 (150点 + 50点)	-	-	○	○	○
			英語・国語・数学から2科目選択	200点 (100点 × 2科目)	○	○	○	○	○
		午後	小論文	200点	○	○	○	○	○
	鉛筆デッサン、日本語作文		200点 (150点 + 50点)	-	-	○	○	○	
2期	2/4 (火)	オンライン面接、自己推薦書	200点 (150点 + 50点)	○	○	-	-	-	
	2/5 (水)	英語・国語・数学から2科目選択	200点 (100点 × 2科目)	○	○	-	-	-	
	2/6 (木)	午前	イメージ表現、日本語作文	200点 (150点 + 50点)	-	-	○	○	○
			英語・国語・数学・日本史・世界史から2科目選択	200点 (100点 × 2科目)	○	○	○	○	○
		午後	小論文	200点	○	○	○	○	○
鉛筆デッサン、日本語作文	200点 (150点 + 50点)		-	-	○	○	○		

※ 午前にイメージ表現、午後に鉛筆デッサンを選択した場合、日本語作文試験を2回受ける必要があります。

試験日程

日程	出願期間	受験票印刷日	試験日	合否発表日	入学手続締切日
1期	2024年10月2日(水) 0:00 ~ 10月11日(金) 23:59	11月13日(水) 12:00 ~	11月16日(土) 11月17日(日)	12月2日(月) 12:00	12月13日(金)
2期	2024年12月20日(金) 0:00 ~ 2025年1月6日(月) 23:59	1月29日(水) 12:00 ~	2月4日(火) 2月5日(水) 2月6日(木)	2月18日(火) 12:00	2月25日(火)

入学検定料

30,000円

試験方式を1つ追加するごとに10,000円が必要になります。

試験会場

京都精華大学

オンラインの試験はインターネット接続環境（Wi-fi環境推奨）とパソコン、スマートフォンなどの機器を用意した環境（自宅など）で受験してください。

学内併願

1つの試験方式につき、第2志望まで学内併願することができます。学内併願は無料です。ただし、オンライン面接方式は第1志望のみ選択できますので、学内併願することができません。

英語資格・検定試験スコアの利用

英語資格・検定試験のスコアを、「英語」の得点にみなして換算することができます。詳しい情報は58ページの「英語資格・検定試験の利用」を確認してください。

海外帰国生徒・社会人入試

本学では海外帰国生徒と社会人の方を対象とした入試を設けています。試験はオンライン面接で、これまでの経験などについて質疑応答を行います。出願資格に関する詳しい情報は、2024年6月頃に大学 Web サイトで公開する『海外帰国生徒・社会人入試要項』を確認してください。

海外帰国生徒入試の出願資格

下記の(A)～(C)をすべて満たす者、または2025年3月31日までに該当する見込みの者

(A) 国籍 以下のいずれかに該当する者

- ・ 日本国籍者（重国籍者を含む）
- ・ 日本で長期滞在可能な在留資格（留学以外）を有する外国籍者

(B) 海外での学修歴

- ・ 海外における学習歴が、継続して2年以上または通算4年以上の者
※ ただし本学入学時点で、帰国後2年以内であること

(C) 学歴

- ・ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者
※ 出願が認められる学歴の条件は他にもあります。詳しくは「海外帰国生徒・社会人入試要項」を確認してください。

社会人入試の出願資格

下記の(A)～(C)をすべて満たす者、または2025年3月31日までに該当する見込みの者

(A) 国籍 以下のいずれかに該当する者

- ・ 日本国籍者（重国籍者を含む）
- ・ 日本で長期滞在可能な在留資格（留学以外）を有する外国籍者

(B) 年齢・社会人経験

- ・ 4年以上の社会人経験を有する23歳以上の者
※ 社会人経験を有する者とは、給与、賃金、報酬、その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いている者、企業などを退職した者、主婦・主夫なども含まれます。

(C) 学歴

- ・ 高等学校または中等教育学校後期課程を卒業した者
※ 出願が認められる学歴の条件は他にもあります。詳しくは「海外帰国生徒・社会人入試要項」を確認してください。

試験方式

この入試の試験方式は下記の通りです。

実施学部	試験方式・科目	出題内容	時間
国際文化学部 メディア表現学部 芸術学部 デザイン学部 マンガ学部	オンライン面接、自己推薦書	リアルタイム形式のオンライン面接において、入学後の目標や学びたいこと、これまでの活動や経験の中で学んだことなどについて質疑応答を行います。自己アピールのために、これまでの活動の写真、制作物、書類などを提示することができます。芸術学部、デザイン学部、マンガ学部では、これまでに制作した作品の提示を求めます。	11:00 から順次 ※ 試験開始時間は個別に通知します。

試験日程

出願期間	受験票印刷日	試験日	合否発表日	入学手続締切日
2024年11月28日(木) 0:00～ 12月4日(水) 23:59	12月11日(水) 12:00～	12月15日(日)	12月23日(月) 12:00	2025年 1月8日(水)

入学検定料

30,000円

試験会場

オンラインの試験はインターネット接続環境（Wi-fi環境推奨）とパソコン、スマートフォンなどの機器を用意した環境（自宅など）で受験してください。

作品・自己アピール資料の提示方法

- ・ 面接において、作品・自己アピール資料を提示する場合は、ファイルの画面共有、またはカメラに写すための準備をしてください。
- ・ 提示する作品は志願者本人が制作したオリジナルに限ります。既存の作品やキャラクターを利用・借用した作品（二次創作）は、その行為自体が批評性を伴う場合を除き、オリジナル作品とは認めません。また、AI(Artificial Intelligence) やトレース、模写などで作成した場合は、作品のどの部分に使用したかを必ず説明してください。

編入学試験

本学では2年次・3年次編入学試験を設けています。募集する学科・コース・専攻は年度ごとに異なりますので、出願にあたっては、2024年6月頃に大学 Web サイトで公開する『編入学試験要項』を確認してください。

出願資格

下記のいずれかに該当する者、または2025年3月31日までに該当する見込みの者

- ・ 各国における短期大学を卒業した者
- ・ 日本国内の高等専門学校を卒業した者
- ・ 日本国内の専修学校専門課程を修了した者（修業年限が2年以上、総授業時間数が1,700時間以上または62単位以上であるものに限る）
- ・ 日本国内の修業年限が2年以上その他の文部科学大臣が定める基準を満たす高等学校専攻科修了者
- ・ 各国における4年制大学を卒業した者

※ 2年次編入の場合は、1年以上在籍し、30単位以上を修得した者、3年次編入の場合は、2年以上在籍し、62単位以上を修得した者

試験方式

編入学試験は2段階で審査します。1次審査に合格した方のみが、2次審査を受験することができます。出願手続、出願書類の提出、入学検定料の納入は、1次・2次のそれぞれで必要になります。

	提出物	出題内容
1次審査	事前課題、志望理由書	1次審査は事前課題（ポートフォリオなど）、志望理由書を提出してください。事前課題は学部ごとに異なりますので、出願にあたっては、『編入学試験要項』を確認してください。

	学部・試験方式・科目	出題内容	時間
2次審査	国際文化 メディア表現	面接、小論文	10:00から順次
	芸術学部 デザイン学部 マンガ学部	面接、作品審査	

試験日程

1次審査	出願期間	1次合否発表日			
	2024年9月2日(月) 0:00～ 9月9日(月) 23:59	9月30日(月) 12:00			
2次審査	出願期間	受験票印刷日	試験日	2次合否発表日	入学手続締切日
	9月30日(月) 12:00～ 10月7日(月) 23:59	10月23日(水) 12:00～	10月27日(日)	11月1日(金) 12:00	11月8日(金)

入学検定料

1次審査	15,000円
2次審査	20,000円

試験会場

京都精華大学

※ 1次審査は書類提出のみ

外国人留学生に求める日本語能力

出願時点で下記のいずれかに該当する者

※ 2022年4月以降に実施された試験であること。

- ・ JLPT（日本語能力試験）N1 レベル以上
- ・ EJU（日本留学試験）「日本語」科目において [読解] / [聴解・聴読解] の合計が280点以上、および [記述] が35点以上
- ・ JPT（日本語能力試験）660点以上
- ・ J.TEST（実用日本語検定）A-C レベルで認定を受け、700点以上
- ・ BJT（ビジネス日本語能力テスト）530点以上

作品審査（芸術学部、デザイン学部、マンガ学部）

- ・ 芸術学部、デザイン学部、マンガ学部の試験では、作品を審査します。事前課題および面接での提出方法については、『編入学試験要項』を確認してください。
- ・ 提出作品は志願者本人が制作したオリジナルに限ります。既存の作品やキャラクターを利用・借用した作品（二次創作）は、その行為自体が批評性を伴う場合を除き、オリジナル作品とは認めません。また、AI（Artificial Intelligence）やトレース、模写などで作成した場合は、作品のどの部分に使用したかを必ず説明してください。

入試についてよくある質問



Q.1	総合型選抜 1 期の体験授業はどんな入試ですか。	A.1	大学の授業を実際に体験してもらいます。先生の講義を聞いて、レポートを書いたり、与えられた制作課題に取り組んでもらいます。
Q.2	総合型選抜を受験したいのですが、他大学との併願はできますか。	A.2	他大学との併願は可能です。 総合型選抜 1 期・2 期の場合、エントリーをして、個別プログラムを受験するまでは、他大学と併願ができます。 試験結果が「出願可」となった後、出願手続から専願となります。 なお、総合型選抜 3 期は専願入試ではありません。
Q.3	総合型選抜 1 期の体験授業は試験時間が長いですが、休憩時間がありますか。	A.3	メディア表現学部、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部の体験授業は 1 日のプログラムですが、途中に約 1 時間の昼食休憩を設けています。
Q.4	総合型選抜 1 期は、1 日目と 2 日目で試験内容が異なりますか。	A.4	2 日間とも同じ内容なので、いずれかの日程で受験してください。志望の学科・コースを迷っている方は 2 つ受験して比べることができます。
Q.5	総合型選抜 1 期の結果が出願否となりました。学校推薦型選抜（公募制）など他の入試で、同じコースを受験してもいいですか。	A.5	もちろん良いです。試験内容が違いますので、何度でも挑戦してください。
Q.6	外国人留学生は総合型選抜を受験できますか。	A.6	はい。受験できます。 ただし、総合型選抜 3 期については、出願時点で在留資格「留学」を有する方に限ります。
Q.7	学校推薦型選抜（公募制）と指定校推薦入試の違いは何ですか。	A.7	学校推薦型選抜（公募制）は日本の高等学校などに在籍する方が対象です。出願には学校長の推薦書と調査書の提出が必要です。 指定校推薦入試は本学が指定する高等学校などの推薦を受けた方を対象にしています。詳しくは在籍する学校に確認してください。
Q.8	学校推薦型選抜（公募制）に出願したいのですが、調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）の基準点はありますか。	A.8	出願のための基準点は設けていません。 評定平均値を点数化（10 倍）して、受験した試験科目の点数との合計点によって合否を判定します。
Q.9	総合型選抜 1 期で合格しましたが、「入学試験成績優秀特待生」の受給を目指して、一般選抜 1 期を再度受験することはできますか。	A.9	専願入試（総合型選抜 1 期・2 期）で入学手続を完了した方は、以降の入試に出願することはできませんが、奨学金「入学試験成績優秀特待生」の受給を目的として、一般選抜 1 期または外国人留学生入試 2 期を受験する場合に限り出願が認められます。 この場合の志望先は、入学手続が完了した学科・コースと同一である必要があります。

出願資格

国内学生の出願資格

下記の条件をすべて満たす必要があります。

国籍	国籍は問いません。
在留資格	日本国籍を有しない者は、出願時点で日本で中長期滞在可能な在留資格（「留学」以外）を取得していること。
学歴	下記のいずれかに該当する者、または2025年3月31日までに該当する見込みの者 1. 日本国内において、高等学校または中等教育学校後期課程を卒業した者 2. 日本国内において、特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次を修了した者 3. 日本国内において、高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した18歳以上の者 4. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある） 5. 外国において、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者 6. 外国の大学入学資格である下記のいずれかを有する者 ・ 国際バカロレア（Diplomaを取得、Course Resultsのみは不可） ・ GCE-A レベル（2科目以上で合格、E評価以上） ・ アビトゥーア（ドイツ） ・ バカロレア（フランス） 7. 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者 8. 文部科学大臣により指定された専修学校の高等課程を修了した者 9. 上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者（文部科学省 Web サイト「大学入学資格について」を確認してください） 10. 本学において、個別の入学資格審査により認められた18歳以上の者

国内学生と外国人留学生の出願資格は下記の通りです。本学に入学する（2025年4月1日）時点で、すべての条件を満たす必要があります。また、提出書類についても記載していますので、あらかじめ確認して準備してください。

学校推薦型選抜（公募制）の出願資格

学校推薦型選抜（公募制）に出願する方は、左記の出願資格に加えて、日本国内の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部などの学校長による推薦を受ける必要があります。

学校推薦型選抜（公募制）の提出書類

調査書	高等学校などが作成し、厳封された書類を提出してください。
学校長の推薦書	本学指定の様式を使用して高等学校などが作成し、厳封された書類を提出してください。 2024年4月1日以降に発行されたものに限りません。

調査書の点数化について

調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）を10倍した値を50点満点で点数化します。

※ 出願にあたり、調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）の基準点はありません。

提出書類

学歴証明書類	高等学校の調査書、卒業証明書、卒業見込証明書、高等学校卒業相当学力証明書など
大学入学共通テスト成績請求票	大学入学共通テスト利用入試に出願する方は、大学入試センターが交付する「令和7年度の成績請求票」を1枚提出してください。
英語資格・検定試験スコア証明書類の写し	英語資格・検定試験スコアを利用する方は、提出してください。

外国人留学生の出願資格

下記の条件をすべて満たすことが必要です。

国籍	日本国籍を有しない者
在留資格	下記のいずれかに該当する者 <ul style="list-style-type: none"> 出願時点で有効な在留資格「留学」を有する者 入学時点で在留資格「留学」を取得する見込みがある者 ※出願時点で在留資格「留学」を有していない者は、2024年12月以降に実施する入試に出願することはできません。
学歴	下記のいずれかに該当する者、または2025年3月31日までに該当する見込みの者 <ol style="list-style-type: none"> 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある） 外国において、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者 外国の大学入学資格である下記のいずれかを有する者 <ul style="list-style-type: none"> 国際バカロレア（Diplomaを取得、Course Resultsのみは不可） GCE-Aレベル（2科目以上で合格、E評価以上） アビトゥーア（ドイツ） バカロレア（フランス） 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者 日本国内において、高等学校または中等教育学校後期課程を卒業した者 日本国内において、特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次を修了した者 日本国内において、高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した18歳以上の者 文部科学大臣により指定された専修学校の高等課程を修了した者 上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者（文部科学省Webサイト「大学入学資格について」を確認してください） 本学において、個別の入学資格審査により認められた18歳以上の者
日本語能力	出願時点で、次のいずれかに該当する者 <ul style="list-style-type: none"> JLPT（日本語能力試験）N2レベル以上（2010年以降に実施された試験であること） EJU（日本留学試験）「日本語」科目において〔読解〕/〔聴解・聴読解〕の合計が220点以上、および〔記述〕が25点以上 JPT（日本語能力試験）525点以上 J.TEST（実用日本語検定）A-Cレベルで認定を受け、600点以上 BJT（ビジネス日本語能力テスト）420点以上
日本での学修状況	在留資格「留学」を有する者は、出願時点で在籍している日本の学校の通算出席率が90%以上であること。

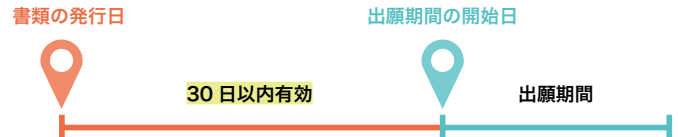
※出願時点において、日本国籍を有する重国籍者で外国人学生として入学を希望する方は、出願前に入学グループに相談してください。

提出書類

学歴証明書類	高等学校などの卒業証明書、卒業見込証明書、高等学校卒業相当学力証明書などの原本
日本語能力を証明する書類の写し	出願資格（日本語能力）を満たしていることを証明する書類（成績通知書、成績証明書など）
日本での学修状況を証明する書類	出願時点で有効な在留資格「留学」を有し、日本の学校に在籍している方は、以下の書類を提出してください。 <ul style="list-style-type: none"> 在籍を証明する書類 成績を証明する書類 出席状況を証明する書類（通算出席率が90%以上であることが必要です）
パスポートの写し	パスポートの顔写真ページの写しを提出してください。
在留カードの写し	出願時点で有効な在留資格「留学」を有する方は、在留カードの両面の写しを提出してください。
大学入学共通テスト成績請求票	大学入学共通テスト利用入試に出願する方は、大学入試センターが交付する「令和7年度の成績請求票」を1枚提出してください。
英語資格・検定試験スコア証明書類の写し	英語資格・検定試験スコアを利用する方は、提出してください。

書類の有効期限について

日本での学修状況を証明する書類には、有効期限があります。書類が発行された日付から、出願期間の開始日までが30日以内のものが有効です。



外国の学校が発行する証明書類について

- 各種の証明書は日本語または英語で表記されているものを提出してください。それ以外の言語で表記されている場合は、日本語または英語の翻訳を添付してください。翻訳者は問いません。また、認証翻訳（Certified Translation）でなくても構いません。なお、翻訳には原本と相違ないことを証明する第三者の公印または署名が必要です。この場合の証明者は、日本語学校、出身学校、大使館などの公的機関しか認められません。
- 中国の高等学校を卒業した方（※台湾、香港、マカオの学校は含まない）は、中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行する学歴認証報告書（英語版）の提出を認めます（学歴証明書類、修学内容証明書類いずれも可）。
- 出身学校が卒業・修了を証明する書類の発行を行っておらず、卒業証書・学位記の原本以外に学歴を証明する書類がない場合は、「卒業証書・学位記の写し」をもって学歴証明書類に代えることができます。ただし、その写しには、原本と相違ないことを証明する第三者の公印または署名（Certified Copy）が必要となります。この場合の証明者は、日本語学校、出身学校、大使館などの公的機関しか認められません。

入学許可を取り消す場合

以下に該当する場合は入学許可を取り消します。あらかじめご了承ください。

- 出願書類に虚偽があった場合
- 過去の在留状況などにより、在留資格を取得できない場合
- 本学が求める経費の支弁能力を証明する書類が提出できない場合
- 受入れ機関（本学）での在籍管理が困難と判断される場合

出願方法

本学ではインターネットで出願を受付けています。出願手続きにあたっては、インターネット接続環境（Wi-fi 環境推奨）と、スマートフォン、タブレット、パソコンなどの機器を用意し、まずは大学 Web サイトのインターネット出願ページにアクセスしてください。

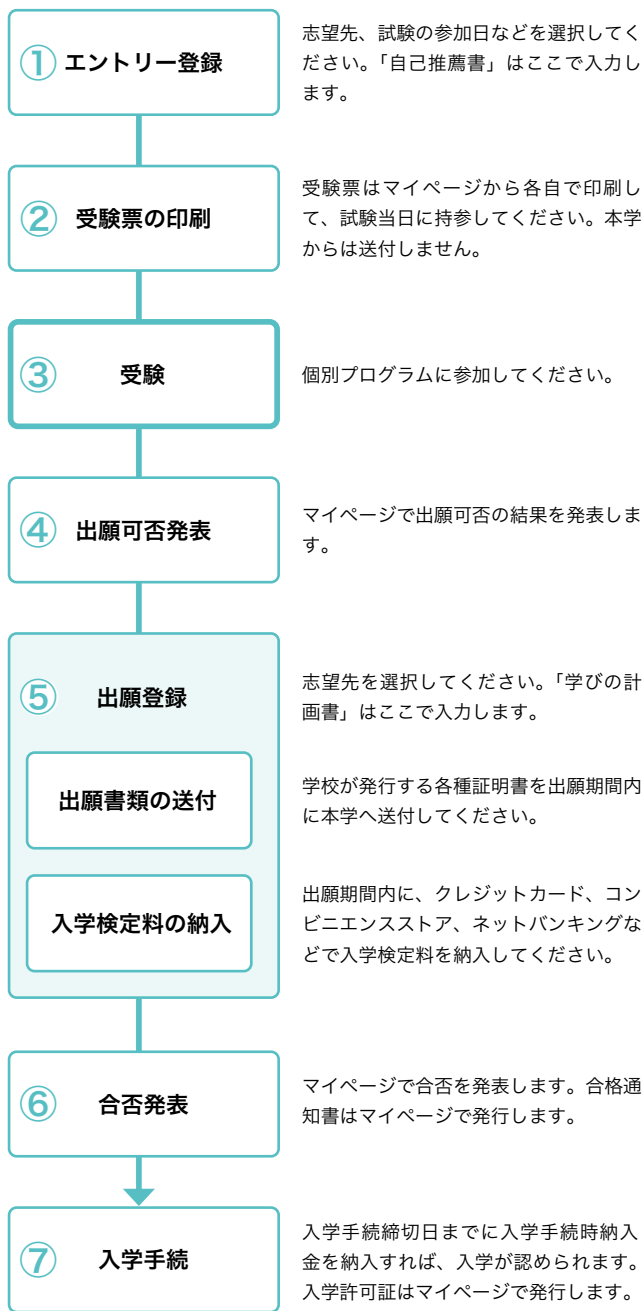


マイページに、個人情報や顔写真を登録してください。これが完了しないと出願登録には進めません。マイページの登録にはメールアドレスが必要です。



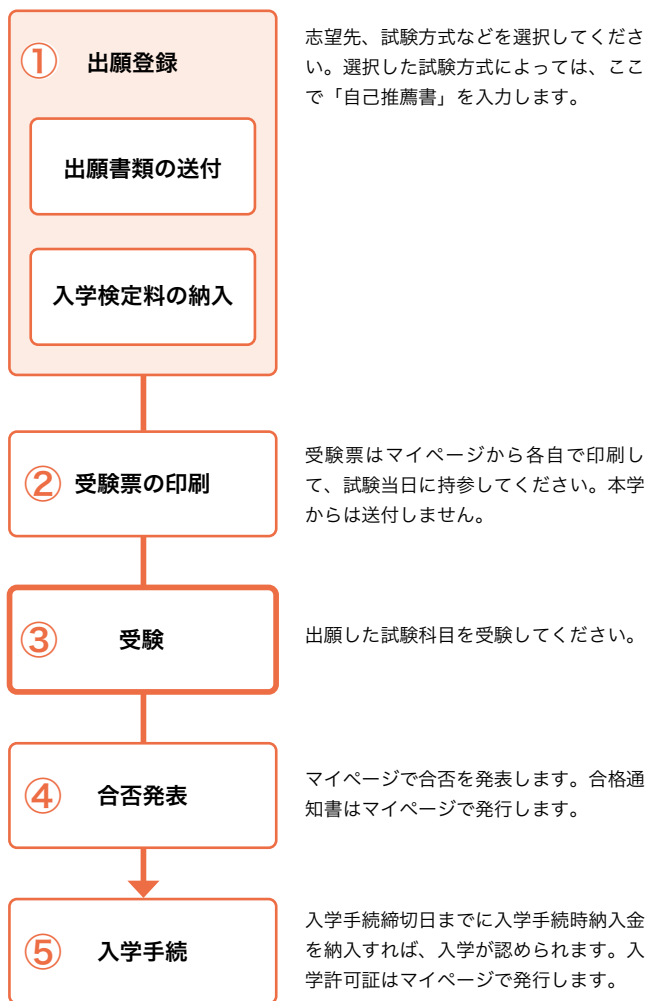
総合型選抜 1期・2期

エントリー期間になったら登録開始



その他の入試

出願期間になったら登録開始



インターネット出願ページ

インターネット出願ページには、出願方法、書類の送付要領、入学検定料の納入方法、よくある質問など、入試に関する情報を掲載しています。

また、学校推薦型選抜（公募制）の出願に必要な推薦書、奨学金の申請書など、本学指定様式を公開しています。必要な方は様式ファイルをダウンロードして、各自で印刷して利用してください。



2024年8月下旬公開予定
インターネット出願ページ



インターネット出願ページに掲載している各種様式

推薦書	学校推薦型選抜（公募制）に出願する方は必ず提出してください。
資格取得特待生申請書（国内学生）	国内学生を対象とした資格取得特待生を申請するための様式。
私費外国人留学生EJU成績優秀特待生申請書（外国人留学生）	外国人留学生を対象とした資格取得特待生を申請するための様式。
宛名ラベル	出願書類を送付する際に使用する宛名ラベルです。 宛名ラベルはマイページで出願登録を完了した際に、志願者の氏名や住所などが入力された状態で印刷することができます。よってこの宛名ラベルは、マイページで印刷できない場合などにご利用ください。

マイページ

マイページは志願者ごとに用意される入試用ページです。氏名、住所、出身学校などの個人情報と、顔写真をあらかじめ登録することで、出願の際の手続きをスムーズに進めることができます。

その他にも、受験票の印刷、合否発表の確認、入学手続きなどを行う役割もあります。このようにマイページは出願から入学まで利用しますので、マイページログイン用のメールアドレスとパスワードは大切に管理してください。



顔写真はスマートフォンなどで撮影したものを登録することができます。

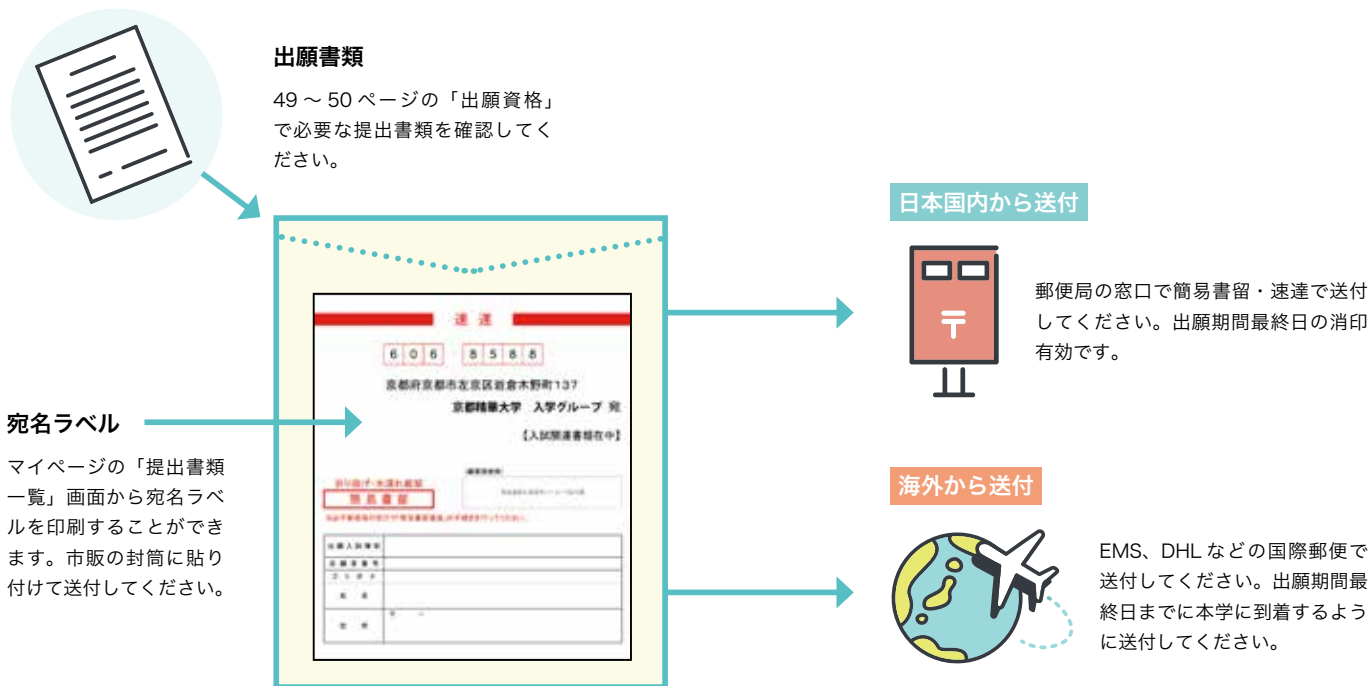


出願書類の送付

マイページでの出願登録が完了したら、出願書類を準備してください。下記の書類の送付方法をよく確認して、提出期限に間に合うように本学まで送付してください。

出願書類の送付方法

マイページでの出願登録を進めると、最後に「提出書類一覧」画面が表示されます。出願書類は市販の封筒を使い、書類の提出期限までに本学に送付してください。



出願書類の提出期限

入試種別ごとの出願書類の提出期限は、下記の通りです。日本国内からの送付と、海外からの送付で期限が異なります。

入試種別		エントリー・出願期間	日本国内から送付	海外から送付
総合型選抜 1期	エントリー	送付書類なし	-	-
	出願	9月26日(木)～10月7日(月)	10月7日(月) 消印有効	10月7日(月) 本学必着
総合型選抜 2期	エントリー	9月26日(木)～9月30日(月) ※ 事前課題の提出が必要なコースのみ	9月30日(月) 消印有効	9月30日(月) 本学必着
	出願	10月18日(金)～10月23日(水)	10月23日(水) 消印有効	10月23日(水) 本学必着
学校推薦型選抜(公募制)	出願	11月1日(金)～11月6日(水)	11月6日(水) 消印有効	-
総合型選抜 3期	出願	11月28日(木)～12月4日(水)	12月4日(水) 消印有効	-
一般選抜 1期 大学入学共通テスト利用入試 1期	出願	2025年1月7日(火)～1月16日(木)	1月16日(木) 消印有効	-
一般選抜 2期 大学入学共通テスト利用入試 2期	出願	2025年2月4日(火)～2月12日(水)	2月12日(水) 消印有効	-
一般選抜 3期 大学入学共通テスト利用入試 3期	出願	2025年2月22日(土)～3月1日(土)	3月1日(土) 消印有効	-
外国人留学生入試 1期	出願	10月2日(水)～10月11日(金)	10月11日(金) 消印有効	10月11日(金) 本学必着
外国人留学生入試 2期	出願	12月20日(金)～2025年1月6日(月)	1月6日(月) 消印有効	-

入学検定料の納入

出願には入学検定料 30,000 円が必要です。学内併願は無料です。また、試験方式を1つ追加するごとに 10,000 円が必要になります。なお、総合型選抜 1 期、2 期については、エントリー時は無料で、入試の結果が「出願可」となり、出願する際に 30,000 円が必要です。

入学検定料の仕組み

入試種別	入学検定料		学内併願料
総合型選抜 1 期	エントリー時の入学検定料は無料です。 試験の結果が「出願可」となり、出願する際に 30,000 円が必要です。		無料
総合型選抜 2 期			-
学校推薦型選抜（公募制） 一般選抜 1 期 外国人留学生入試 1 期、2 期	30,000 円	試験方式を 1 つ追加するごとに 10,000 円	無料
総合型選抜 3 期 一般選抜 2 期、3 期	30,000 円		-
大学入学共通テスト利用入試 1 期、2 期、3 期	10,000 円		5,000 円

入学検定料の例：複数の試験方式を選択した場合

下記の例では、学校推薦型選抜（公募制）において、第 1 志望にメディア表現学科、第 2 志望に造形学科として、3 つの試験方式を選択しています。

志望先	学内併願料	試験方式・科目	入学検定料	説明
第 1 志望 メディア表現学科	-	①オンライン面接方式 ※ 第 1 志望のみ選択できる方式	30,000 円	基本料金
		②学力 2 科目方式（英語・国語）	10,000 円	試験方式の追加料
第 2 志望 造形学科	無料	③鉛筆デッサン方式 ※ メディア表現学科は選択できない方式	10,000 円	試験方式の追加料
		②学力 2 科目方式（英語・国語）	0 円	同じ試験方式による学内併願料
			50,000 円	上記の合計

受験上の配慮

本学の入試では病気・負傷、障害などのために、受験に際して配慮を希望する方に対して、個別に受験上の配慮を行います。希望する方は出願に際して下記を確認してください。

受験上の合理的配慮

障害・疾病・負傷などがあるために受験上の合理的配慮を希望する方は、**出願開始日の1ヶ月前まで**に入学グループに連絡してください。また、出願後に不慮の事故（交通事故、負傷、発病）などにより、配慮が必要となった方はすみやかにご連絡ください。

申請手順は以下の通りです。

1. 出願（エントリー）開始日の1ヶ月前までに入学グループに連絡してください。
2. 「受験上の配慮申請書」を配布しますので、必要事項を記入し、根拠書類（医師の診断書、検査結果、障害者手帳などの写し、大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書など）を添付して、入学グループに送付してください。
3. 本学で協議の上、決定した配慮内容をお知らせします。なお、本学が必要と判断した場合は、面談のうえ、配慮内容を決定します。

入学後の修学支援

修学上の合理的配慮の相談を受付けています。修学上の合理的配慮について質問や相談などがある場合は、本学の障害学生支援室までメールでお問合せください。必要な場合は障害学生支援室及び、入学を予定している学科・コースの教員との面談を行います。なお、修学上の配慮に関する相談は、入学手続完了後でも可能ですが、本学での準備に時間を要する場合がありますので、できる限り早めにご相談をお願いします。本学の支援制度の内容や利用方法、施設・設備などについては、大学 Web サイト（障害学生支援）で確認してください。



障害学生支援

感染症への対応

志願者が学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザなど）に罹患した場合、その感染症が他の受験者や監督者に広がるおそれがありますので、担当医師が「感染のおそれがない」と認めない限り、受験することはできません。

志願者が感染症の罹患によって試験を欠席した場合、入学検定料（欠席した日の分）の返還、または以降の入試種別への振替受験を申請することができます。申請方法は2024年7月頃に大学 Web サイトで公開する『入学試験要項』を確認してください。

自然災害等の被災者に対する学費減免等救援措置

本学では自然災害などにより被災した保護者の方の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、災害救助法などの適用地域居住の被災者を対象とした救援措置を設けています。救援措置の適用を希望する場合は、入学グループまでご連絡ください。

	入学前	入学後
金額（年間）	入学検定料：全額免除 入学金：全額免除 授業料：年間授業料の1/4の額を減免	最大年間授業料の1/2の額を減免
対象	災害救助法の適用地域に志願者本人もしくは学費支弁思弁者が居住し、就学継続が著しく困難となった者 被災状況による支援基準があります。	
採用人数	不定	
申請および選考方法	提出書類により被災状況と家計、国や地方公共団体による支援状況、学内外の奨学金利用状況を総合的に審査	
時期	災害発生時	



出願についてよくある質問

Q.1	願書はどこで入手できますか。	A.1	本学は Web で出願を受付けています。 志望学部や試験方式を出願画面（マイページ）で入力して、調査書（卒業証明書）などの書類は本学に送付してください。
Q.2	マイページで出願手順をして、入学検定料を支払った後、出願内容が間違っていることに気づきました。内容の修正はできますか。	A.2	入学検定料を支払った後は出願内容の修正を受け付けません。 入学検定料を支払う前であれば、出願登録を最初からやり直すことができます。
Q.3	学校推薦型選抜（公募制）の学校長の推薦書は、大学指定の書式がありますか。	A.3	はい。大学指定の書式を用意しています。 大学 Web サイトの「インターネット出願ページ」でダウンロードして使用してください。
Q.4	一般選抜 1 期と大学入学共通テスト利用入試 1 期を出願します。それぞれ封筒を分けて送付する必要がありますか。	A.4	1 つの封筒にまとめて送付してください。調査書も 1 通で構いません。封筒には一般選抜 1 期の宛名ラベルを貼ってください。
Q.5	出願書類は京都精華大学の窓口でも受け取ってくれますか。	A.5	出願書類は大学窓口で受付けていませんので、必ず郵便局などを利用して送付してください。
Q.6	マイページのアカウント作成に必要なメールアドレスを持っていません。保護者などの本人以外のアドレスで登録してもよいですか。	A.6	マイページのアカウント作成に必要なメールアドレス（マイページのログイン ID となるもの）は、出願登録の確認や、入学検定料の支払完了通知などに利用します。メールアドレスを持っていない場合は、志願者本人が確認できるフリーメールアドレス（Gmail、Yahoo! メールなど）を取得して登録してください。
Q.7	マイページに登録する顔写真は、学校の制服を着たものでよいですか。	A.7	顔写真は試験当日の本人照合や入学後の学生証用の写真として利用します。3 ヶ月以内に撮影したものであれば、制服、私服のどちらでも問題ありません。
Q.8	出願しましたが、受験票が届きません。	A.8	受験票は受験票印刷日以降に、マイページでダウンロードして、各自で印刷して試験当日に持参してください。
Q.9	出願が完了したか不安です。確認はできますか。	A.9	マイページの出願（エントリー）履歴で、出願登録の内容、入学検定料の納入状況を確認することができます。
Q.10	一度、調査書（卒業証明書）を提出しましたが、再受験の際にも調査書の再提出は必要ですか。	A.10	2025 年度入試で調査書（卒業証明書）を一度提出した場合は、それ以降の入試で再提出する必要はありません。 ただし、提出書類によっては再提出が必要ですので、必ず 2024 年 7 月頃に大学 Web サイトで公開する『入学試験要項』を確認してください。

試験会場

試験会場は京都精華大学となります。キャンパス内に駐車場はありませんので、公共交通機関を利用してください。なお、オンラインで実施する試験は、インターネット接続環境（Wi-fi 環境推奨）とパソコン、スマートフォンなどの機器を用意した環境（自宅など）で受験してください。

所在地

〒606-8588 京都府京都市左京区岩倉木野町 137 番地

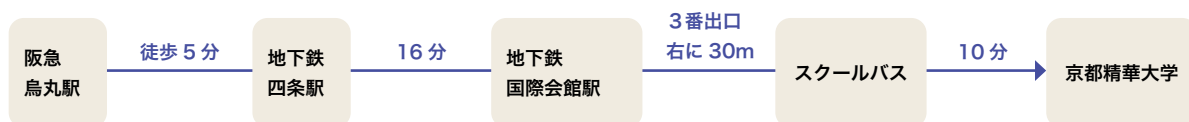
交通アクセス



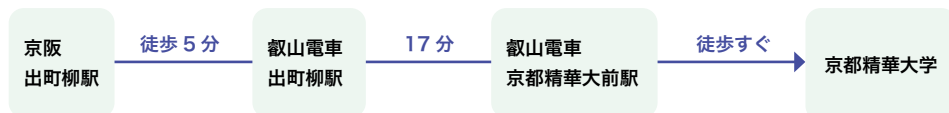
交通アクセス



JR「京都駅」より地下鉄烏丸線に乗り換え、「国際会館駅」下車、スクールバスで約10分



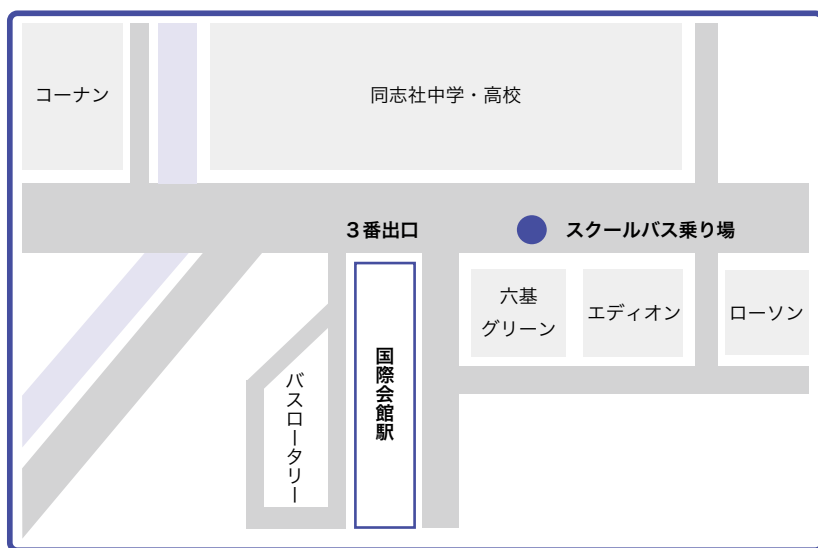
阪急京都線「烏丸駅」より地下鉄烏丸線に乗り換え、「国際会館駅」下車、スクールバスで約10分



京阪鴨東線「出町柳駅」より叡山電鉄に乗り換え、「京都精華大前駅」下車、徒歩すぐ

スクールバスの運行について

試験当日は、地下鉄烏丸線「国際会館駅」～本学間でスクールバスを運行します。スクールバス乗り場は「国際会館駅」3番出口を出て右になります。時刻表は大学 Web サイト（交通アクセスページ）で案内します。



英語資格・検定試験の利用

本学が指定する英語の資格・検定試験のスコアを利用して、学力2科目方式の「英語」の得点に換算すること(みなし得点)ができます。本学の「英語」試験は、受験をするかしないかを選択することができ、受験した場合は「みなし得点」と本学の「英語」の得点を比較して、高い得点で可否を判定します。

本学が指定する英語資格・検定試験

- ・ 英検、英検 S-CBT、英検 S-Interview
- ・ TOEIC L&R+S&W
- ・ TOEFL iBT
- ・ GTEC 4技能
- ・ IELTS アカデミック・モジュール
- ・ TEAP 4技能、TEAP CBT
- ・ ケンブリッジ英語検定

スコアを利用できる入試種別

- ・ 学校推薦型選抜(公募制)
- ・ 一般選抜1期
- ・ 外国人留学生入試1期
- ・ 外国人留学生入試2期

みなし得点換算表

みなし得点	英検2級以上を受験 CSE2.0	TOEIC L&R+S&W	TOEFL iBT	GTEC 4技能	IELTS アカデミック・ モジュール	TEAP 4技能	TEAP CBT	ケンブリッジ 英語検定
100点	2,300～	1,560～	72～	1,180～	5.5	309～	600～	160～
90点	2,150～	1,360～	57～	1,050～	4.5	270～	510～	150～
80点	1,950～	1,150～	42～	930～	4.0	225～	420～	140～

- ・ 英検は2級以上を受験して、指定のスコアを取得することが採用条件となります。英検の合格が必須ではありません。
- ・ TOEICはTOEIC L&RスコアとTOEIC S&Wスコアの2.5倍したものを合算したスコアとします。
- ・ TOEFL iBTはTest Dateスコアを採用します(MyBestスコアは採用しません)。
- ・ GTECはBasicとCoreは対象とせず、AdvancedとCBTに限ります。
- ・ TEAPは全3回の試験での技能ごとの高得点を採用するのではなく、1回みの点数を採用します。
- ・ 資格の有効期限は取得日が2022年4月1日以降であるものに限り(スコアに有効期限がある場合は、2025年4月1日時点で有効であること)。

申請方法

申請する方はマイページで出願登録を行う際に、学力2科目方式から「英語」を含む2科目を選択し、「英語資格・検定試験利用制度を申請する」を選択してください。また、スコアを証明する成績証明書などの写しを出願書類と一緒に出願期間内に送付してください。

資格取得特待生(国内学生対象)について

英語資格・検定試験のスコアを使用する方は、併せて「資格取得特待生」に申請することができます。「資格取得特待生」とは、国内学生を対象とした奨学金制度です(TEAP、ケンブリッジ英語検定は対象外)。申請する方は大学Webサイト(奨学金ページ)で申請方法を確認してください。申請がない場合は奨学金選考の対象外となります。



国内学生対象の奨学金



資格取得特待生の申請提出は、**2025年3月18日(火)必着**。
受験後でも申請できます！

入学金・授業料

入学手続は入学手続時納入金（入学金・第1クォーターの授業料・同窓会費・教育後援会費）を、所定の入学手続締切日までに納入することで完了します。締切日までに納入が完了しない場合は、入学を辞退したものとします。なお、締切日後の入学手続はいかなる理由があっても認めません。

入学手続時納入金

学部		国際文化学部	メディア表現学部	芸術学部	デザイン学部 マンガ学部
内 訳	入学金	200,000 円			
	授業料（第1クォーター分）	271,500 円	296,500 円	387,500 円	394,750 円
	同窓会費（終身会費）	10,000 円			
	教育後援会費（4年分）	40,000 円			
合計		521,500 円	546,500 円	637,500 円	644,750 円

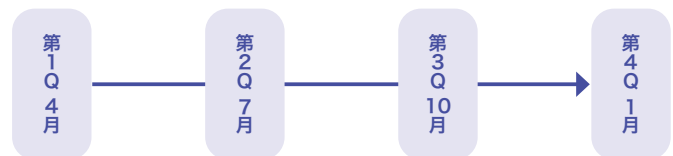
※ 外国人留学生の方は入学手続時に「外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険加入費」13,660 円（4年分）が必要です（本学に在籍する外国人留学生のための保険）。なお、金額は2024年度の実績です。2025年度の加入費は変更する場合があります。

納入方法

入学手続時納入金は、金融機関窓口、金融機関 ATM、ネットバンキング、国際学費決済サービス Flywire のいずれかの方法で納入をお願いします。

入学後の授業料納入について

本学では年間の授業を4期に分けて行うクォーター制を導入しています。入学後の授業料はクォーターごとの納入期日までに、年間授業料の4分の1の金額を納入していただきます。



学部	国際文化学部	メディア表現学部	芸術学部	デザイン学部 マンガ学部
授業料（クォーターごと）	271,500 円	296,500 円	387,500 円	394,750 円
年間授業料	1,086,000 円	1,186,000 円	1,550,000 円	1,579,000 円
初年度納入金（入学手続時納入金を含む）	1,336,000 円	1,436,000 円	1,800,000 円	1,829,000 円

ノートパソコンなどの購入について

本学では従来の対面型授業の他、より高い教育効果が得られる科目については、オンラインでの授業も取り入れています。また、各学部における専門科目の課題制作のためにも、学生各自にパソコンが必要となります。

入学予定の皆さんには、原則としてノートパソコンの購入と、自宅や下宿先における Wi-Fi などのインターネット接続環境の準備をお願いしています。指定のモデルや購入金額、購入時期などについては、学科・コースごとに異なります。詳細については合格者に案内します。



奨学金

本学では成績優秀な方や経済的に困難を抱えている方を支援するための奨学金を設けています。奨学金には入学前に選考するものと、入学後に利用できるものがあります。申請方法などの詳しい情報は大学 Web サイトで確認してください。

入学前に選考する奨学金

入学前に選考する奨学金は、期限までに申請する必要があります（入学試験成績優秀特待生は申請不要）。

奨学金	金額	採用人数	対象者	対象
資格取得特待生	500,000 円	上限なし	国内学生	下記のいずれかの資格を有する方。2022 年 4 月 1 日以降に取得したものを有効とする。なお、スコアに有効期限がある場合は、入学日時点で有効であること。 <ul style="list-style-type: none"> 英検 2 級以上を受験して CSE2.0 1,950 以上 TOEIC L&R + S&W 1,150 以上（L&R スコアと S&W スコアを 2.5 倍したものを合算したスコアで判定します） TOEFL iBT 42 以上 GTEC 930 以上 IELTS アカデミック・モジュール 4.0 以上 ※「入学試験成績優秀特待生」との併給不可。
私費外国人留学生 EJU 成績優秀特待生	年間授業料の 1/4 の額	15 名	外国人留学生	下記の入試の合格者の中で、日本留学試験 (EJU) の「日本語」において、「聴解・聴読解」と「読解」、「記述 (35 点以上あること)」の合計が 300 点以上の者のうち成績上位者を採用。2023 年 4 月 1 日以降に受験した成績に限る。 <ul style="list-style-type: none"> 総合型選抜 (1 期、2 期、3 期) 外国人留学生入試 (1 期、2 期) 指定校推薦入試 ※「入学試験成績優秀特待生」との併給不可。
入学試験 成績優秀特待生	年間授業料の 1/4 の額	15 名	国内学生 外国人留学生	下記の入試の合格者の中で、優秀な成績を納めた者。 <ul style="list-style-type: none"> 一般選抜 1 期 外国人留学生入試 2 期 ※指定校推薦入試で合格し、入学手続をした方は、それ以降の入試に出願することはできないため、入学試験成績優秀特待生の対象となりません。

日本学生支援機構 (JASSO) 奨学金

『給付奨学金+授業料等減免』（「高等教育の修学支援新制度」）

本学は「高等教育の修学支援新制度」の対象機関に認定されています。この制度は修学意欲がありながらも経済的な理由により進学が困難な学生の経済的負担の軽減を目的とした国による支援制度です。日本学生支援機構の「給付型奨学金」を受けると同時に「授業料や入学金の減免」の支援を受けることができます（どちらも返還不要）。I～IVの支援区分があり、毎家家計基準により支援区分の見直しが行われ、給付奨学金月額と授業料等減免額が決定します。

『貸与奨学金』（第一種・第二種・入学時特別増額貸与奨学金）

貸与奨学金は返還が必要な奨学金制度です。無利子の第一種奨学金（月額 2 万円～6 万 4 千円）・有利子の第二種奨学金（月額 2 万円～12 万円）、入学時特別増額貸与奨学金（一時金 10 万円～50 万円）があり、貸与を受ける金額は自分で決めることができます。

申し込みについて

「予約採用」：現在在学している学校で申込みをします。詳細は在学している学校にお問い合わせください。

「在学採用」：大学で年 2 回（春期・秋期）申込みを受け付けます。

※ 新入生も入学後に「在学採用」で申込みができますが、高校などで「予約採用」申込みをし、採用候補者と決定されることで、入学後の所定の手続きが簡単で奨学金の受け取りが早い段階から開始されることが期待できます。

詳しくは日本学生支援機構 Web サイトおよび文部科学省 Web サイト（高等教育の修学支援新制度）を確認してください。

入学後に利用できる奨学金

奨学金	金額	採用人数
成績優秀奨学金	年間授業料の 1/4 の額	45 名 (各学年 15 名)
海外プログラム 学修奨励奨学金	年間授業料の 1/2 の額	20 名
海外プログラム 履修奨励貸与奨学金	最大 300,000 円	不定
短期奨学貸付金	最大 30,000 円	不定
私費外国人留学生 大学学費減免	年間授業料の 1/4 の額	84 名 (各学年 28 名)

奨学金ページ



2024 年度入試結果

2024 年度入試における学科ごとの志願者数、受験者数、合格者数は、下記の通りです。下記の表には一般選抜 2 期・3 期、大学入学共通テスト 2 期・3 期は含みません。より詳しい情報は大学 Web サイトで公開しています。

入試結果

学部・学科		総合型 1 期	総合型 2 期	総合型 3 期	学校推薦 (公募制)	一般選抜 1 期	共通テスト 1 期	留学生 1 期	留学生 2 期	
国際文化学部	人文学科	志願者	22	2	3	19	31	20	3	2
		受験者	20	2	3	19	30	20	3	0
		合格者	18	2	3	17	26	20	1	0
	グローバル スタディーズ学科	志願者	8	0	1	7	9	8	1	1
		受験者	7	0	1	7	9	8	1	1
		合格者	5	0	1	5	8	8	0	1
メディア表現学部	メディア表現学科	志願者	117	—	8	40	73	38	17	11
		受験者	106	—	8	40	71	38	17	11
		合格者	68	—	8	28	58	29	12	5
芸術学部	造形学科	志願者	173	—	—	102	100	34	70	32
		受験者	148	—	—	100	98	34	63	29
		合格者	80	—	—	34	46	7	18	9
デザイン学部	ビジュアル デザイン学科	志願者	199	—	—	112	126	44	71	24
		受験者	177	—	—	112	120	44	64	20
		合格者	33	—	—	32	10	2	11	4
	イラスト学科	志願者	189	—	—	35	36	11	97	37
		志願者	164	—	—	35	36	11	85	33
		合格者	35	—	—	17	4	2	21	1
	プロダクト デザイン学科	志願者	83	—	—	36	51	24	42	36
		受験者	72	—	—	36	47	24	39	30
		合格者	43	—	—	27	19	11	17	9
	建築学科	志願者	32	—	—	11	18	12	10	10
		受験者	22	—	—	11	17	12	10	7
		合格者	12	—	—	9	16	11	7	6
人間環境デザイン	志願者	9	—	2	2	4	4	1	0	
	受験者	7	—	2	2	3	4	1	0	
	合格者	4	—	2	1	2	4	0	0	
マンガ学部	マンガ学科	志願者	789	—	—	121	159	50	385	111
		受験者	705	—	—	118	157	49	342	101
		合格者	128	—	—	29	20	9	72	18
	アニメーション学科	志願者	175	—	—	54	53	23	140	39
		受験者	157	—	—	54	53	23	129	35
		合格者	35	—	—	13	8	5	18	8

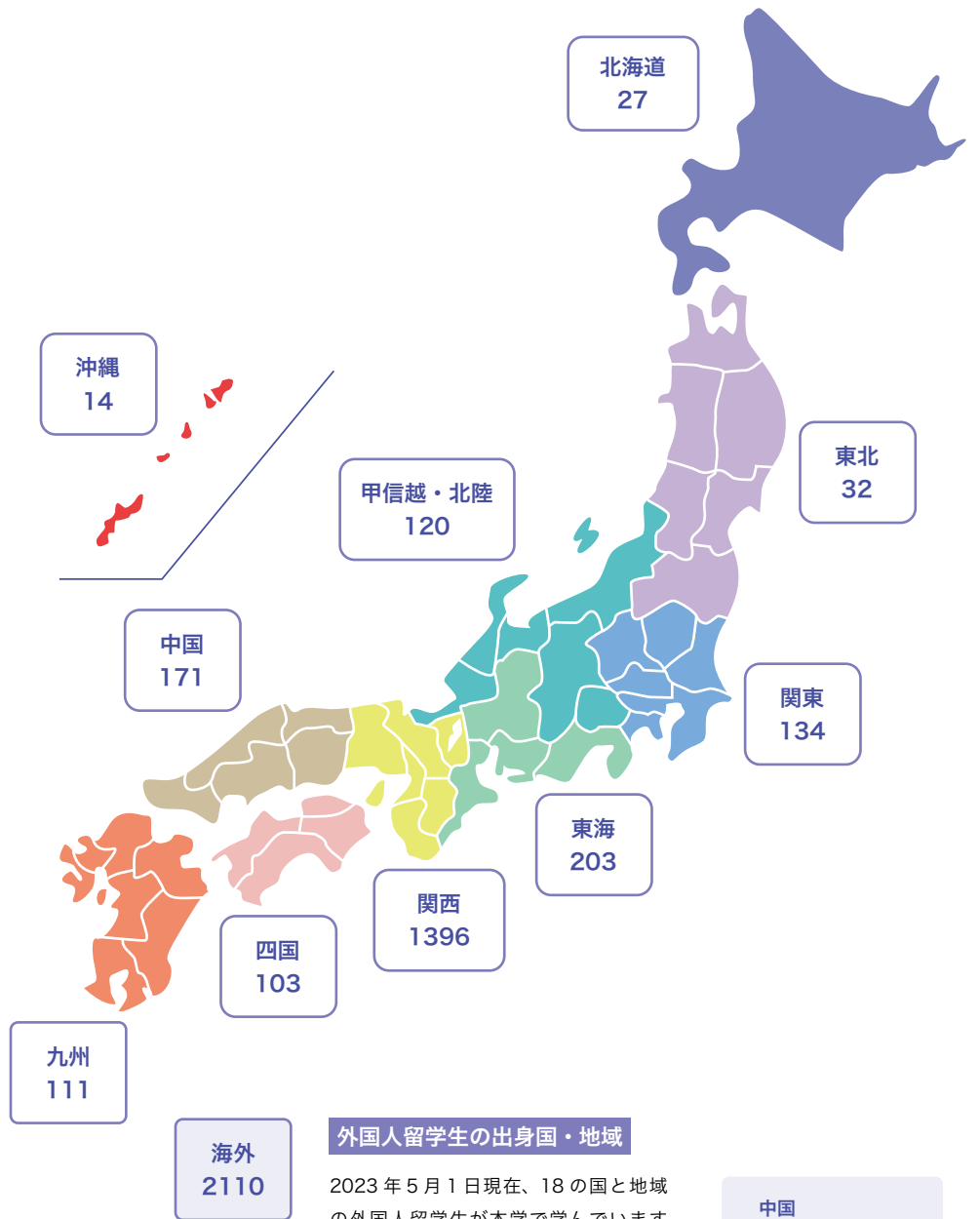
総合型選抜 1 期において志願者とは、エントリー者のことを指し、合格者とは一次審査で出願可を受けて出願し、合格となった者のことを指します。また、上記の数値には学内併願、同一学科・コースの複数回受験を含んでいます。



入試結果

地域別志願者数

地域	都道府県	志願者数
北海道	北海道	27
	青森県	4
	岩手県	4
東北	宮城県	16
	秋田県	2
	山形県	4
	福島県	2
関東	茨城県	19
	栃木県	5
	群馬県	6
	埼玉県	13
	千葉県	22
	東京都	51
	神奈川県	18
甲信越 北陸	新潟県	14
	富山県	14
	石川県	37
	福井県	19
	長野県	36
東海	岐阜県	5
	静岡県	43
	愛知県	103
	三重県	52
関西	滋賀県	184
	京都府	441
	大阪府	377
	兵庫県	251
	奈良県	100
	和歌山県	43
中国	鳥取県	28
	島根県	13
	岡山県	50
	広島県	72
	山口県	8
四国	徳島県	24
	香川県	38
	愛媛県	29
	高知県	12
九州	福岡県	31
	佐賀県	6
	長崎県	9
	熊本県	19
	大分県	14
	宮崎県	16
	鹿児島県	16
沖縄	沖縄県	14



外国人留学生の出身国・地域

2023年5月1日現在、18の国と地域の外国人留学生が本学で学んでいます(2024年度入試以前の志願者も含む)。

- 中国
- 韓国
- 台湾
- 香港
- インドネシア
- マレーシア
- タイ
- アメリカ合衆国
- シンガポール
- ベトナム
- ミャンマー
- ロシア連邦
- フィリピン
- ニュージーランド
- ノルウェー
- カザフスタン
- カナダ
- メキシコ

お問合せ

入学試験に関するお問合せ

入学試験に関するご質問は、入学グループ宛にメールまたは電話にてお問合せください。受付時間、連絡先は下記の通りです。なお、メールでのお問合せの際は必ずお名前を入力してください。なお、お問合せ内容に応じて、入学グループ以外の担当部署から回答することがあります。

入学グループ

受付日時	月曜～金曜 9:00～18:00 (8/8～9/20は9:00～16:30) 土曜、日曜、祝日、8/9～8/18、12/28～1/5は事務局休業日につき、 メール・電話への対応を行っていません。
メール	nyushi@kyoto-seika.ac.jp
電話	075-702-5100
住所	〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137

インターネット出願の操作に関するお問合せ

「インターネット出願ページ」の「よくある質問・お問合せ」では、「マイページ」での操作に関するお問い合わせへの回答を掲載していますのでご活用ください。

URL: <https://www.guide.52school.com/guidance/net-kyoto-seika>

志願受付操作サポート窓口

受付期間	2024/8/1～2025/3/31 上記の期間のうち、入試種別ごとの出願期間のみ窓口をご利用いただけます。 また、年末年始(12/29～1/3)は休業させていただきます。
受付時間	毎日 9:00～20:00
電話	0120-752-257

入試&高校生・受験生向け情報

入学試験に関してよくある質問、過去の入試結果、過去問題、実技試験の合格参考作品などの情報を「入試&高校生・受験生向け情報」ページに公開しています。また、入学試験に関する追加の知らせが発生した場合もこのページでお知らせします。



入試&高校生・受験生向け情報



資料請求

その他の入試について

編入学試験 海外帰国生徒入試 社会人入試 大学院入試	大学 Web サイトの資料請求ページにてデジタル版(PDF)を公開します。
指定校推薦入試	本学が指定する高等学校にのみ入試要項を提供します。大学 Web サイトでは公開しません。

個人情報の取り扱い

本学では、個人情報保護の重要性を認識し、個人情報保護に関する法令を遵守すると共に、適法かつ適正に個人情報を取り扱います。志願者であるみなさんの個人情報については、出願処理、試験実施、合否発表、入学手続、学内における統計資料作成に使用し、入学手続完了者については、入学後の在籍情報登録、入学準備案内としても使用します。前述の各業務について、本学および当該業務を委託した業者において業務を行うことがありますが、本学が明示する用途のみに使用し、委託業務を超えた利用はありません。また、実技試験（鉛筆デッサン、イメージ表現）の合格作品については、入学試験の参考資料として本学が発行する『入試ガイド』『入学試験要項』や、本学 Web サイト（入試&高校生・受験生向け情報）などで二次利用する場合があります。あらかじめご了承ください。

2025

KYOTO SEIKA
UNIVERSITY
ADMISSION
SUMMARY

京都精華大学 2025 年度 入試ガイド

2024 年3月発行

京都精華大学 入学グループ